

商

況

販賣旬報 第221號 昭和8年2月21日

製鐵所販賣部

昭和7年の需給

昭和7年の鐵鋼界を概観すると初めは脱兎の如く、中頃處女の如く終りは飛龍の如きものであつた。6年12月の所謂犬養景氣に煽られて、7年初頭には線香花火の様にバツと火花を散らしたが3月以後は再び元の暗夜に還つて静寂の極度に達したが、7、8月頃より追々と雲を呼び9月に入ると共に俄然風を捲き起して永らく蜚居して居た龍は跳つて奔騰の限りを盡して此年を閉ぢた。

換言すれば昭和7年の5、6月は過去數年間に亘る眞の大底であつた。然るに供給は必しも此消長と一致するものでなく、譬へば昭和3年に於ける好況時には決して供給數量は多くは無く落潮に入つた。昭和4年が最多の供給を爲して居る、またそれが自然の形態と云へる。其の意味より昨年の好調は供給數量に於て甚だしい多量を喚び起こす事はなかつた然し上半期の線香花火の刺激によつて結局は昭和6年よりは増加の傾向を見た。

別表を読む人は下記を考慮されたい。1、伸鐵を計算に入れて無い事。平鋼を中心とする東西合せて10何萬噸に達する伸鐵方面よりの供給を全然閉却して居ることである。2、輸出を除外したこと

之とは反對に國內より海外に出た數量も此表に入れて無い。昭和7年は中小型を主力として橋梁材等の大型物及び大量ものでは軌條類が滿洲方面に進出したが之も此表から除外してある。

それで先づ第1表の總計より解剖する。昭和6年は10年の昔に還つて200萬噸臺を割つて猶悲境を脱することを得なかつたが、昭和7年に於ては再び辛ふじて200萬噸に復活した。前年に比し約30萬噸の増加である。然らば之は幾等増加したか、それは旬報第205號を再讀すれば分る通り上半期に於て已に増加の傾向を辿つて居たので、必しも下半期のみが増加したのではないことが觀取される、即ち年の初めと年の終りに異状な増産をなしたものが中央の減産によつて平均されて此數量となつたのである。細部に亘る研究は讀む人に委せて品種に大別して見ると

(a) 條鋼類では殆んど全部の品種が前年より増加して總體としては約10萬噸の増となつた。需要が減つた減つたと云はれる工形が溝形より多量に供給されたこと、シートパイリングの復活が目立つて居る。又フープ(スケルプを含む)の民間生産のないものは日本鋼管の生産が此表に乘らず、パイプに變形した爲めである。又不相變輸入の多量なことは本年に於て恐らく製鋼業が刮目する處となる。

(b) 鋼板では5萬噸の増加に留つた、0.7mm以上の6年の數量は「其他」の大部分の數量が之に加はるべきであるのに、統計の採り方の相違から分離したるによるので假に「其他」の全部を加算しても猶4萬噸の増であるが突發した種々の特殊需要に追はれて未だ需要を充たすことが出来ない。不思議なのは0.7mm以上の減少である。今年に於ては可なり劇しい反動増加が豫想されて居る。

珪素鋼板はマーケットブルなものは殆んど無く實需に追從して起伏する爲め年々の數量の相違が甚しい。綹鋼板が1月頃400圓臺に飛躍したのも此供給數量の2,000噸と云ふのを眺めれば合點が行く

様な氣がする。惑星鐵力は不思議な増加でありながら、不思議な程堅調であるのが不思議である。

(c) 軌條は増加率から云ふと斷然他鋼材を壓し絶對數から云ふても12萬餘噸の増加である。重軌條は國內需要の喚起もさる事ながら新興滿洲國が異状な吸収力を發揮したのが此の増加の主要原因と見られて居る。常識上の判斷からすれば此度のインフレーションに依る好影響を豫想されるもの一つは此輕軌條であらう。然るに供給數量から見ると前年と殆んど變らぬ故今になつて盛んに不足を訴へるのは寧ろ當然で將來益々旺盛になるのではあるまいか。但し此も實需以外に全然緩衝地帶を持つ事が出来ない性質のものだけに其の調節は中々困難である。

(d) 其他の鋼材で「外輪車軸」は軌條に連れて増減するは當然で本年増加を豫想されるもの一ツである。「線材」も輕軌條と同様インフレ景氣に煽らるゝ様に觀察される、現在に於ける針金、釘の異常の硬化も其を裏書きして居るが本年は下期に於ける増産を計算する時は其需要に對しても充分過ぎる程供給し得るのではあるまいか。

「鋼管」も前年の過少の反動で甚だしい不足を告げて市價の昂騰を呼び遂に昭和鋼管の設立を刺激するに至つたが、兎に角供給數量としては10萬噸臺を恢復することが出来た。

「其他」は主として特殊鋼、鍛成品等であるが此は時局關係で7年に於てさへ昭和5年を突破したが本年は恐らく驚異的な多量の供給を見るものと考へられて居る。

内地生産と輸入を比較すると前年に於て150萬噸臺に陥落したが7年に於ては一舉にして昭和5年を凌ぐ10萬噸で190萬噸近くまで躍進した。之に反し輸入は例外なく逐年減少し7年には22萬噸に満たぬ、數量で5年の殆んど半数である。然し是が最少の數量で今年に於ては再び増加と見られる原因が今から多々數へられて居る。内地生産中、製鐵所と民間とを見るに製鐵所は増加こそ示したれども未だ5年のそれには8萬噸近く及ばないのに反し、民間は6年の不況時にも増加し7年に於ては遂に100萬噸を突破するに至つた。

第2表は昭和5年を100としたる6年7年の百分率を示したものである。概観すれば昭和5年の數量を越したものは餘り見當らず、6年に比較すれば大體は増加の傾向を辿つたと云ふ狀勢が觀取される。總計で昭和5年の供給數量を越したものを數へると丸鋼、工形鋼、フープ(スケルプを含む)、0.7mm以下鋼板、鉄力板、線材及其他と云ふ7種である。之に反し昭和6年より減少したものは「角鋼」「平鋼」「條鋼の其他」「0.7mm以下鋼板」「綹鋼板」の種がある。

要するに最近の我國鐵鋼の供給數量は昭和6年の180萬噸を最低として、去年の昭和7年は大體昭和5年、の數量と匹敵するまでに増加した。異状の好調の跡と、軍需及滿洲新市場の開拓などを胸中に藏する昭和8年の供給は將して如何なる數字となつて現はれ又市場は此數量を如何なる方法、手段によつて料理し反映するか、耳にした増産の話だけでも、淺野小倉、日本鋼業、徳山鐵板、神戸製鋼、中山製鋼、大阪製鐵、住友製鋼、昭和鋼管、日本鋼管、千住鐵板等十指に餘るものがある。

材 供 給 高 比 較 表

内地生産高			輸 入			總 計		
5 年	6 年	7 年	5 年	6 年	7 年	5 年	6 年	7 年
335,509	324,247	361,528	22,256	12,526	9,537	357,765	336,773	371,065
29,718	27,305	26,921	2,531	2,078	1,797	32,249	29,383	28,718
60,698	47,320	47,251	10,626	7,249	7,118	71,324	54,569	54,369
149,947	112,232	135,423	9,287	720	1,142	156,234	112,952	136,565
36,110	28,404	29,601	5,677	427	791	41,787	28,831	30,392
27,907	33,705	40,290	10,064	2,430	867	37,971	36,135	41,157
38,912	22,473	35,423	5,565	661	806	44,477	23,134	36,229
—	3,673	10,050	33,380	10,162	13,634	33,380	13,835	23,684
—	10,647	14,534	45,006	40,038	47,652	45,006	50,685	62,186
7,559	13,558	11,087	7,011	2,025	3,034	14,570	15,583	14,121
683,360	623,564	712,108	151,403	78,316	86,378	834,763	701,880	798,486
318,423	229,525	309,272	45,174	8,908	8,788	363,597	238,433	318,060
215,484	253,817	250,663	27,445	18,586	11,080	242,929	272,403	261,743
5,349	2,757	8,531	7,450	2,700	2,475	12,799	5,457	11,006
4,440	3,454	2,224	2,205	355	63	6,645	3,809	2,287
22,430	28,296	34,317	68,843	47,749	63,469	91,273	76,045	97,786
2,916	8,489	2,394	—	—	—	2,916	8,489	2,394
—	41,450	2,198	—	—	—	—	41,450	2,198
569,042	567,788	609,599	151,117	78,298	85,875	720,159	646,086	695,474
254,357	84,727	206,779	6,180	5,180	4,578	260,537	89,907	211,357
32,370	20,294	20,796	6,080	782	1,082	38,450	21,076	21,878
17,726	6,959	8,422	887	315	172	18,613	7,274	8,594
304,453	111,980	235,997	13,147	6,277	5,832	317,600	118,257	241,829
15,660	11,992	13,815	813	577	221	16,473	12,569	14,036
122,431	175,792	214,796	68,685	65,167	27,889	191,116	240,959	242,685
88,337	63,780	95,813	28,189	10,225	8,367	116,526	74,005	104,180
6,635	4,471	9,334	4,609	3,695	3,395	11,244	8,166	12,729
1,789,918	1,559,367	1,891,462	417,963	242,555	217,957	2,207,881	1,801,922	2,109,419

付き品種別に按分したるもの

第 2 表 百 分 率 比 較 表 (5 年を基準とした%)

品 種 分		製 鐵 所		民 間		内地生産高		輸 入		總 計	
		6 年	7 年	6 年	7 年	6 年	7 年	6 年	7 年	6 年	7 年
條 鋼	丸角平邊山形鋼 等邊山形鋼 不工溝 シートのパイピング フープ(スケルプを含む) 其小計	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
		80.7	92.4	101.9	112.8	96.6	107.8	56.3	42.9	94.1	103.7
		98.4	76.5	62.6	153.6	91.9	90.6	82.1	71.0	91.1	89.1
		47.8	45.0	170.3	178.5	78.0	77.8	68.2	67.0	76.5	76.2
		81.8	88.2	72.6	94.9	76.4	92.2	7.8	12.3	72.3	87.4
		75.0	70.9	91.0	119.7	78.7	82.0	7.5	13.9	69.0	72.7
		120.8	144.4	—	—	120.8	144.4	24.1	8.6	95.2	108.4
		57.8	91.0	—	—	57.8	91.0	11.9	14.5	52.0	81.5
		—	—	—	—	—	—	30.4	40.8	41.4	71.0
		—	—	—	—	—	—	89.0	105.9	112.6	138.2
鋼 板	鋼板 0.7mm 超 " 0.7mm 以下 硅素鋼 綳鋼 鐵力板 ニバーサル平鋼 其小計	137.1	62.4	196.2	180.4	179.4	146.7	28.9	43.3	107.0	96.9
		82.7	93.6	98.4	113.1	91.2	104.2	51.7	57.1	84.1	95.7
		46.8	78.5	95.9	114.7	72.1	97.1	19.7	19.5	65.6	87.5
		132.1	98.7	115.6	119.0	117.8	116.3	67.7	40.4	112.1	107.7
		51.5	159.5	—	—	51.5	159.5	36.2	33.2	42.6	86.0
		77.8	50.1	—	—	77.8	50.1	16.1	2.9	57.3	34.4
		124.0	153.0	—	—	126.2	153.0	69.4	92.2	83.3	107.1
		291.1	82.1	—	—	291.1	82.1	—	—	291.1	82.1
		88.9	91.3	106.7	117.0	99.8	107.1	51.8	56.8	89.7	96.6
		軌條及 附屬品	重軌 輕軌 小計 外輪、車軸 線鋼其 總計	33.3	81.3	—	—	33.3	81.3	63.8	74.1
61.4	70.1			74.7	10.2	62.7	64.2	12.9	17.8	54.8	56.9
39.3	47.5			—	—	39.3	47.5	35.5	19.4	39.1	46.2
36.4	78.2			74.7	10.2	36.8	77.5	47.7	44.4	37.2	76.1
65.8	66.8			84.0	102.9	76.6	88.2	71.0	27.2	76.3	85.2
123.9	148.7			176.6	239.8	143.6	175.4	94.9	40.6	126.1	127.0
—	—			72.2	108.5	72.2	108.6	36.3	29.7	63.5	89.4
74.1	81.4			58.9	215.6	67.4	140.7	80.2	73.7	72.6	113.2
72.2	91.4			102.8	120.7	87.1	105.7	58.0	52.1	81.6	95.5

値段 100 封度 15 圓(20錢上げ) 170 封度 27 圓 70 錢(同)
数量 600 噸 (200 噸減)

外 注 値 段		100 lbs.	170 lbs.
Cif price	£	0-17-6	£ 1-12-7
Exchange @ 1/2 %	¥	14.36	¥ 26.74
Interest (1.3%)		.19	.35
Duty		.72	1.22
Charge		.08	.15
	¥	15.35	¥ 28.46
希 望		14.80	27.50 (据置)

猶 1 月 18 日「東京鉄力板問屋組合」が結成されたが會員約 20 名である。

鋼 矢 板 會—据置

月日場所 2 月 8 日 大阪中央電氣俱樂部

出席者 三井、三菱、岩井、安宅及製鐵

議 事 鋼矢板賣出に關する件

(1) 買手側意見と希望 今迄鋼矢板會は買手側のみにて開催しあつたも今月より賣手も交へて協議することゝなつた。

鋼矢板は他鋼材と異なり、決定まで半歳以上を要することが常態なるのみならず、在庫を擁して取引する外國商品と對抗する必要あるを以て、是非多量の製作と相當の常備を願度く、特に近來の如く鋼材界の活況を呈する際は兎角鋼矢板の製作が忘れ勝ちになり易き様にも觀察せらるゝも過度期にある此國產品の伸張を期する爲め國家的見地より鋼矢板も是非考慮を拂はれたし。其他主なる提案として

(1) 外國製品にて當所品より 1 割も 2 割も輕量のものがあるが國產品利用範圍を擴ぐる意味より、1 號以下の輕量のものゝ製作を願度し。之に對しては研究すべしと云ふことであつた。

(2) 鋼矢板短尺ものゝ販賣も全部鋼矢板會經由願度しと云ふ希望であつたが當所は現品調査の上成るべく鋼矢板會にて取扱ふ様したしと云ふ返事があつた。

(3) 使用者に於て現在に於ても種々の誤解あるを以て今後は各社手分けし各地宣傳に廻る方針に付製鐵所にも應援願度し之に對しては當所は出來得る限りの應援をすべしと云ふことであつた。

(4) 納期を出來得る限り短縮することゝ之を嚴守することに就ては需要家の實狀に鑑み是非御實行願度し。之に對し當所は新年度に於て相當の計畫をなし實情に應ずる様實施すべきに就き緩和せらるる事と思ふと、云ふ回答をした。

(2) 値段は現在 28 弗見當換算爲替 21 弗 約 165 圓の外注に對し相當の値鞘あつて値上げの餘地は充分あるも、現在未だ國産として販路を擴張する時期にあるを以て据置とする故其眞意を徹底せしむる意味より將來成約値段は製鐵所へ報告する事と云ふ賣手の提案により其の通り實施する事に決定した。

3、4 月積スコップ用鋼板賣出協議會—据置

月日場所 2 月 14 日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、岩井及製鐵

議 事 3、4 月積スコップ用鋼板賣出に關する件

(1) 値段と數量 外注の Cif は前月と變らざるも爲替が先月 20 弗 3/4 に對し本月は 21 弗 1/2 となりたる爲め僅少ながら値下りとなりたるも、今日の狀勢未だ値下げとすべきにあらざるを以て据置きとなすも可なれども、追々と需要期に向ふを以て數量は前月通り 300 噸程度の賣出せられたしと希望し、賣手側も大體妥當なるものと認

め希望通り次の通り決定した。

値 段 160 圓 (据置) 數 量 300 噸 (前月通り)

(2) 締 切 2 月 18 日

外 注 値 段		Feb. 13th 1933
Shovel Sheet		
1'85 x 4' x 8'		
Cif.		@ \$ 25.50
Ex. 21-1/2 %		¥ 120.70
Charges.		
Duty	@ ¥ 32.01	
Interest 1.5%	1.81	34.92
Landing charges	1.10	
Per G. T.		@ ¥ 155.62
Per 1,000 kgs.		153.16

4、5 月積縞鋼板賣出協議會—2 圓上げ

月日場所 2 月 15 日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、安宅及製鐵

議 事 4、5 月積縞鋼板賣出しに關する件

縞鋼板は過般一時的の品掠れに遇ひ、一時は 400 圓の呼値さへ現はれて狂奔したが其後當所よりの僅少の入荷に緩和されて現在 170—180 圓見當を彷徨して居る狀勢である。

之には別に外注値段もないが厚板及中板の振合ひと市況より判斷し若干値上げするが至當なるべしとの意見により次記の通り 2 圓上げに決定した。

4、5 月積縞鋼板 112 圓 50 錢 (2 圓上げ)

猶耳付との格差に就ては種々の意見の交換があつたが、市況と環境を考慮し現行の 13% を 2% だけ短縮し 11% とすることゝした。

數量は市場緩和の爲め買手側より増額を希望し結局前月より 50 噸だけ増加し 300 噸だけ賣出した。

3 月積及 4 月積珪素鋼板の申込と引受

3 月積を 1 月 14 日、4 月積を 2 月 7 日に締切つた 3 月積及 4 月積珪素鋼板の申込數量は賣出當時既に各社に割當てられてゐるので其れ以上に出來る事無く而も實需は旺盛なので賣出數量即ちマキシマムまで達するのは當然と云はれてゐる。

昭和 8 年 3 月積珪素鋼板申込及引受高

品 種	B 級	C 級	D 級	T 級	計
寸法					
0.35mm	435	—	115	385	935
0.43	95	—	—	—	95
0.5	60	10	—	—	70
計	590	10	115	385	1,100

昭和 8 年 4 月積珪素鋼板申込及引受高

品 種	B 級	C 級	D 級	T 級	計
寸法					
0.35mm	555	—	160	145	860
0.43	200	—	—	—	200
0.5	30	10	—	—	40
計	785	10	160	145	1,100

3、4 月及 4、5 月積美裝鋼板の申込と引受

3、4 月積締切日 1 月 14 日 4、5 月積締切日 2 月 5 日

美裝鋼板の歴史は新しく現在は未だ建設時代なので需要に充分副ふ丈の數量が積出せない關係上引受が需要數量以内に定められて居り、且つ申込が制限されてゐるので賣出數量と申込數量と引受數量は一致するのが常態である。

因に 3、4 月積より 4、5 月積が 15 噸多いのは申込數量に變化があつたのではなく買手の希望に因り賣出當時既に約束された數量なのである。

美装鋼板 3、4 月積申込及引受高 (単位kg)

品名 寸法	白鷺	赤鷺	白鳩	赤鳩	計
B.W.G. #22	18,000	6,000	5,000	1,000	30,000
" #20	18,000	6,000	9,000	1,000	34,000
" #19	17,000	5,000	13,000	—	35,000
" #18	26,000	4,000	—	1,000	31,000
1.6mm	58,000	2,000	133,000	1,000	194,000
2mm	—	—	—	—	—
2.3mm	20,000	2,000	14,000	—	36,000
3.2mm	—	3,000	35,000	2,000	40,000
計	157,000	28,000	209,000	6,000	400,000

美装鋼板 4、5 月積申込及引受高 (単位kg)

品名 寸法	白鷺	赤鷺	白鳩	赤鳩	計
B.W.G. #22	20,500	—	5,000	—	25,500
" #20	20,500	—	14,000	—	34,500
" #19	11,500	—	11,000	—	22,500
" #18	17,000	—	12,500	2,500	32,000
1.6mm	88,500	5,000	61,000	25,000	179,500
2mm	—	—	—	—	—
2.3mm	15,000	5,000	31,000	10,000	161,000
3.2mm	12,000	—	33,000	15,000	60,000
計	185,000	10,000	167,500	52,500	415,000

9mm (3、4 月積) 及中丸 (4、5 月積) 賣出に關する

打合せ—据置希望

月日場所 2 月 8 日 大阪中央電氣俱樂部

出席者 關東共販、製鐵、4 社及大阪定期團

議事 (1) 9mm 及中丸定期繼續に關する件

3 月以降 9mm 定期の繼續に關しては今迄の條件通りにするより外能力無き見込なりとの提案に對し買手側は臨時賣の出づるを慮るゝが若し臨時賣をなす場合には定期團に願度しとの希望あり、中丸は過去の實績より觀察する時は 1,500 吨位にて調節し得る筈なるに現在不足を訴ふる原因に就て協議したる結果其は要するに過去の過少の手當が此需要擡頭に遇ふたる故供給不足を告げたるに至つたと云ふことであつた。

(2) 9 耗 (3、4 月積) 中丸 (4、5 月積) 値段協議

外注は波瀾多く未だ真相の把握困難なるも今日三井入電によれば 9mm—\$ 15.85 base—\$ 14.85 見當にて据置きを希望するが妥當なるべしとのことに兩者の意見の一致を見其旨關東共販へ意見具陳することゝなつた。

3、4 月積中板の締切—申込 9,000 吨

中板は他と異なり東京だけは申込を受けて配分するが、大阪方面は豫め統一して別に申込を取らないから、表に現はれた數字だけでは市場の向背は判斷し兼ねるが、他鋼材の最悪の場合にも損を知らぬ中板は好況に馴れ特に昨秋來の狂相場は大部外注を誘發した趣きもあつて 3、4 月の申込も大阪は除いても概念上の數量よりも餘程落ち付いて見える。

引受數量も色々やり繰りをして多量に引受けたから外注と相俟つて相當緩和劑の役目を果すものと思はれて居る。

3、4 月積中板の申込及引受高

	申 込 高					引 受 高				
	1.6mm	2.3mm	3.2mm	4.5mm	計	1.6mm	2.3mm	3.2mm	4.5mm	計
東京	2,305	750	1,935	1,015	5,735	525	200	230	200	1,155
大阪	720	255	460	375	1,810	720	255	460	375	1,810
名古屋	866	103	492	131	1,092	145	25	113	37	320
其他	20	5	50	20	95	20	5	50	20	95
計	3,141	1,113	2,937	1,541	8,732	1,410	485	853	632	3,380

3、4 月積小型山形鋼の締切—申込 3,000 餘吨

申込は 1、2 月積の約 1/2 となり 2、3 月積より 1,000 吨減少して大部落着いた状態を示す様になつた。

最近は小型山形に對しても相當需要は擡頭してゐて相場も強く比較的供給量も少ないので決して 1、2 ヶ月前と異つた事情に在るのではないが鋼材界全般が辿り着いたと同じく一時の熱狂期を通り越して冷靜に還つたので醒めて見れば此程度でも充分と云ふ事になるのではあるまいか。

引受は能力の關係上先月より 400 吨減少したが引續き 1,000 吨以上引受け成る可く買手の意に副ふ事とした。

3、4 月積小型山形鋼申込高及引受高

區別 向先	申 込 高				引 受 高			
	釜 石	製鐵所	計		釜 石	製鐵所	計	
東 京	505	972	1,477		190	360	550	
大 阪	545	1,185	1,730		240	390	630	
名 古 屋	31	53	84		36	44	80	
其 他	38	32	70		14	26	40	
計	1,119	2,242	3,361		480	820	1,300	

4、5 月積中型山形共販賣出理事會—据置

月日場所 2 月 10 日 大阪日本綿業俱樂部

出席者 日本鋼管、東海、製鐵及定期團

議事 4、5 月積中型山形鋼賣出に關する件

(1) 外注は種々の波瀾と不安定は傳へらるゝも結局別項の通り Cif に於て 40 仙の値上りを見た、然し爲替の相殺を加味されて概して前月と大差なく市場値段のみは聊か行き過ぎたる觀あるも、製鐵所の積出も本月より順潮なることを豫期せられて居るから遠からず平均することゝ思ふ。定期團の一部の意見としては餘りに外注値段と接近する時は外注を誘發する虞ある故値下げを希望する者もあれども市場への影響を考へ据置きを希望すと云ふ買手の提案があつた。

理事會の意向も大體之を肯定し据置きと決定した。

猶常に定期團の心配の種であるアウト、サイダーも現在市場へ影響する程の進出も無いと云ふ大阪定期團よりの報告があつた。

等 邊 95 圓(据置) 不等邊 96 圓(〃)

(2) 他鋼材同様 Charges は來月より 2 圓 50 錢と改正することに決定した。(3) 外注値段 (4) 締切 2 月 17 日

Quotation for Chugata-Angle
(April/May shipment.)

Osaka, 10th February, 1933.

Cif	\$ 15.10
Ex. @ \$ 21 1/8 (June)	¥ 71.69
Duty	25.06
Charges	1.90
Per long ton	¥ 98.65
Per K. ton	97.10

4、5 月積中板共販賣出理事會—2 圓上げ

月日場所 2 月 10 日 大阪日本綿業俱樂部

出席者 東海、製鐵及四社

議事 4、5 月積中板賣出に關する件

(1) 値段 外注は現在の處にては前月と大なる變化を認められざるも只 4.5mm が 6.0mm との均衡上聊か値上げの餘地ある様思はるゝと云ふ外、買手側の希望値段は提出されざりし故理事會にて外注を参照して 2 圓上げと云ふことに決定した。

記

1.6mm	2.3mm	3.2mm	4.5mm
130圓(2圓上げ)	125圓(〃)	112圓(〃)	105圓(〃)

(2) 數量 現下の中板の高値の状態に鑑み成るべく多く出すと云ふことにした。

(3) 當所先物協議會にて提案決定した通り Charges を來月より 2 圓 50 錢に改正することにした。

(4) 締切 15 日

外 注 値 段		
Chuita	10th Feb. 1933.	
1.6mm	\$ 22.65	¥ 139.53
2.3	21.45	133.91
3.2	18.70	114.18
4.5	18.00	110.90
	Exch. Charge	21.00 1.90

ブラッセル齋藤囑託通信

2 月 18 日 入電 市場好轉し堅調確定的となる。相場次の通り

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S)
2-12-6	2-10-0	2-11-6	2-6-0
鋼 板	シートバー	ビレット	
($\frac{3}{16}$ ")	(assorted)	(4")	
3-5-0	2-3-0	2-2-0	

東 西 市 況 一氣迷ひ

聯盟最悪の状態に入ると云ふ報を入れて株式市場は暴落を演じ 15 日の主要取引所の後場は一齊休場し、不安人氣漲つたが其後は聊か落ち付き氣味となり爲替も 20 弗臺で軟弱を傳へられて居る一方 6 日の入電によれば 4 日に大陸鋼塊組合の更生が成立したと云ふので一時ベース 13 弗 90 仙位迄落ち込んだものが急反撥となつて店によつては 16 日には 16 弗 10 仙の入電を見たときへ云はれて居る。是等の材料は鐵鋼にとつてはどうやら強氣を刺激する様であるが、之と反對に 1 月の物價の反落の趨勢や最近に於ける賣行不振と多量の入荷を考慮する時は賣りたくもなると云ふ様に、近來の市況は電報一本で全然翻轉する可能性が多分に含まれて居る様に觀られる爲め、思ひ切つて賣るには惜しい氣持がすると同時に斷然買だと飛出すだけの勇氣もなく、其日々々の風まかせに賣つたり買つたりで全く氣迷ひの状態と見られて居る。

東 京 市 況

丸 鋼 細物は未だ大阪鐵鋼の進出已まぬ爲め手持も相當増して不冴、ベースは 17 日丸鋼組合は 9 圓 80 錢据置と決定したるも市中は之に支へられて保つて居る程度で賣行不振を啗られた不振。中丸以上は品薄緩和の見込もなく前旬より上伸した。

角、平 鋼 中丸と角、平は現在に於ける花形である。數量から云ふと誠に貧弱な花形である。併し一部では 3 月中旬には舶來の平鋼が相當入荷する様な噂を流布されて氣勢を削いで居る。

型 鋼 等邊は一時大阪方面の品掠れにより大部西路へ引かれたが近來大阪が入荷順調となつた爲め東京方面からの廻送は途絶えた形であるが、それが爲め東京方面は未だダブ付く程にはならず、不相變小錠りを續けて居る、大型物は日 1 日と潤澤となり伸びず、不等山も等山同様豊富に不冴、溝、工は 1、2 寸位のものは品切れに突飛の高値を唱へて居るが全體から云ふと逐次入荷して在庫豊富となり漸落を辿つて居る。

鋼 板 中板及 60mm は一時先行不安に續落を演じたが數日前より買に轉じた向もあつた爲め戻し氣味となり、現在は稍落ち付きと見られて居る 60mm などは舶來の聲に脅へ 12 圓臺の賣物も出た模様であつたが、此處へ來てどうやら正體の見極めも付いて押し目買の元氣を盛り返したと云はれて居る。厚板は他に引かれて値段としては一步步安値には移つて居るが品薄に底意は耽りを傳へら

れて居る。

大 阪 市 況

丸 鋼 層の上ではもう春が來てゐるが昨今の寒さはまた格別である。一般濟經界も亦春から冬に逆轉したやうな感がある。而し我鋼材界はこうした周境の影響は比較的少いやうであるが目下不需求期であることへ最近金融の關係で少量乍ら投物があつたとのことで従つて相場は伸び悩みの態である。勿論目先悲觀材料は見當らぬが月でも變れば必ず反撥を見るであらうとまるで取らぬ狸の皮算用を極め込む向もかなりあるやうである。

細丸は既報の如く賣行不振な處へ伸鐵方面よりどしどし注入あるため相場はじり安歩調を辿つてゐる。ベース物は仕入を原價境界に小高下を演じてゐる。中丸は積遅れといふよりも寧ろ賣出數量が少いため市中品不足にて最近機械製作用としての注文がかなりあるので相場は異常に高い。就中 55mm、60mm等は市場品皆無にて 12 圓以上を唱へられてゐる。太丸は荷動き弗々あるも相場はその割に動かぬやうである。

雪の道問はぬ先まで教へけり

角、平 鋼 角鋼は元來出足の鈍い品丈に商内の妙味も少く先旬來鈍重保合を續けてゐる。只 50mm 以上のものは機械用として相當經つた數量が積出されるので相場も比較的堅い。平鋼は積遅れのため伸鐵品で間に合してゐるがこれも安値には入手し難いので間屋としては甘い汁は吸へないらしい。

型 鋼 小形アングルは從來賣出し數量は少いが賣行も大した事もなかつたので凡調裡に推移しつゝあつたが最近引合も増加の傾向を示すに至つたので氣配は幾分引締つた模様である。3×30、5×40等は相當高値を唱へられてゐる。

中形アングルは日用品であるので他のものに比較して荷動きよく市中極度の品掠れと相俟つて相場は 12 圓 50 錢—13 圓といふ異常な騰勢を示してゐる。この機に乗じてアウトサイダーの活躍振りは目覺しいものがあるが市場には大した影響はないやうである。大形アングルは弗々入荷あり賣行不振と相俟つて相場は下押し氣味にあり。チャンネル 65×125、65×150、75×150 等は品切れにて突飛な相場を唱へられてゐる。ジョイストは弗々荷動きあり氣配は凡調。

鋼 板 1 中板は外注品入荷のため相場は幾分下押し氣味にあり 2 中板はシャー方面よりの手當あり且外注品の入荷と相俟つて氣配は弱含保合。厚板は賣行弗々あるも今一段の飛躍は見られない様子である。

線 材 共販の値上げ發表にて市中相場は見直した先物は現物に比し 3、5 圓方安値唱へなるも國際聯盟の見透しもほゞついたので賣手は強腰と見られ、製品界の不振は目先高値を見越しての不服とも見られてゐる。

鋳 力 板 需要期に接近しつゝある昨今であるのでむげに下押しやうなことはあるまいが兎に角賣買共總見送りの態度を持してゐるので目下氣迷ひ商狀を呈してゐる。

訂 正 通 知

前號掲載「1 月中三港鋼材輸入數量表」の線材は横濱 758 吨中 656 吨は供託品なるに依り夫々次の如く訂正す。

線 材	横 濱		1 月計	本年累計
	102	555	555	555
線 計	3,528	11,091	11,091	11,091

旬報第 220 號掲載「3、4 月積賣出六軌會」の一般向賣出値段は誤植に付き次の通り訂正す。

イ、10 哩未満	110 圓	4 圓上げ
ロ、10 哩以上	108 圓	4 圓上げ

販 賣 旬 報 第 222 號 昭和 8 年 3 月 3 日

製 鐵 所 販 賣 部

4、5 月 積 先 物 の 申 込 と 引 受—申込 1 萬 噸

外注は軟調市況は一服を傳へられ賣出値段は据置となつたが、鐵鋼界の本流には隠然底固いものがあり、先行強氣觀は無言の中にほの見えて居たので 2 ケ月で約 2 萬噸を引受けられた後を受けてもビクともせず申込數量は矢張 1 萬噸に達してゐる。

今月も角、平に 4,000 噸の申込があつたが能力と需要を検討すれば先月 1,000 餘噸を引受けられた後としては後廻しの運命にあり、従つて角、平は引受けず代つて大型物全部の申込に應ずる事となつた。

4、5 積 先 物 申 込 高

品名	揚地	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角	鋼	535	635	50	156	1,376
平	鋼	1,055	1,235	100	86	2,476
等	山	316	940	—	5	871
不	山	75	660	—	67	782
溝	形	1,089	1,403	10	46	2,548
工	形	620	1,366	—	—	1,986
合 計		3,690	5,830	160	360	10,040

2、3 月 積 中 型 山 形 の 申 込 と 引 受—申込 7,000 噸

2、3 月積中型山形は舊臘 24 日締切られ下表の通りの状態となつた。定期契約繼續後責任引受數量は 6,000 噸乃至 7,000 噸と更改されたが、前月より引續き今月も亦最大 7,000 噸の申込となつて折柄の好況を根強く反映してゐる。

中型も積遅れ等の關係から品薄を傳へられてゐるので、需要が振興してゐる今日自然最大限の申込となるのは避けられないが、近く積出も順調に復し、旁々年間 8 萬噸以上は中型として多量に過ぎると見られてゐるので、充分需要を斟酌して進み今後共健實なる推移を示され度いものである。

2、3 月 積 中 型 山 形 鋼 申 込 高

	京濱揚	伊勢灣揚	阪神揚	計
等 邊	2,889	260	2,900	6,049
不 邊	261	20	670	951
計	3,150	280	3,570	7,000

3、4 月 積 線 材 の 締 切

前回の引受高 1 萬噸に對して今回は 8,000 噸なので近來の方法通り共販に於て適當に割當てた。

從來神戸製品の引受數量が製鐵所製品より多い事はなかつたが、製鐵所の積遅れを緩和すを意味に於て初めて⑤品の引受を削減して神戸品よりも尠くし尙亦神戸品の東京進出を認めて東京に 500 噸積出す事となつた。斯くて賣手としては需給のバランスを探る事に力を致してゐるが、買手オプションに依る揚地別數量は豫想よりも東京に薄く大阪に厚かつたので、東京の品薄は未だ當分は避け難いものではあるまいか。

割 當 日 18 日

3、4 月 積 先 物 申 込 高

區別	申込高	引受高	計	計	計
	神戸	製鐵所	神戸	製鐵所	計
内 東	—	—	500	1,597	2,097
地 大	—	—	4,500	1,153	5,653
向 名	—	—	—	190	190
古	—	—	—	60	60
其	—	—	—	—	—
計	—	—	5,000	3,000	8,000
輸 出	—	—	1,000	500	1,500

備 考 輸出向は 4、5 月積

3、4 月 積 黒 板 共 販 賣 出 理 事 會

月日場所 2 月 21 日 大阪中央電氣俱樂部

出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及 4 社

議 事 3、4 月積黒板賣出に關する件

(1) 賣手側希望として提出されたるもの次の如し。

4 社案 3 月積黒板賣出に關し協議仕候結果次記要項の件宜敷御高配賜度

1、値 段 薄平板市況も一應高値を見其後漸落今日に至れる様子より見れば大幅値上は市場の望む處に非ず寧ろ穩健なる方策として据置きを希望する向きへあるやに見受けらる故市況引立ての意味よりして幾分値上しては如何

輸出向は市況輸入採算等を考慮して 10 圓下げの 185 圓にて發表願度し、厚物は太體に於て外註採算より高値の物もあり且逆鞘の物もある状態故全部据置に願度

2、エキストラ改正の件 6 尺物 2 圓の割増撤廢願度

7、8 尺物 割増 2 圓に止められ度し(從來 5 圓)

3、數 量 積月中(3 月中)に積出し得る數量を御賣り願度

4、アウトサイダーに對する對策

5、既契約輸出向にして受渡遅延せし分に對しては 輸出期限をそれ丈け延長願度し

猶之を敷衍して次の説明があつた。

a 値 段 値上げの程度としては 3、5 圓位に止められたし
輸出向は現在の状態にては値段關係より到底外注に對抗し得ざる有様に付き是非 10 圓位値上げ願度し

厚物中 3 枚物の如きは 20 圓も逆鞘となり居る狀況にて誠に不合理なれども此際市況に劇變を興ふるは策の得たるものにあらず、兎に角今月は一應据置に願度し

b メーカーにより積遅れを現出し質需家より苦情も出て居る故 3 月中に實際積出し得る數量を賣出され度し數量としては前月と同様 1 萬 2,000 噸位の賣出を希望す

c 東京方面にても追々とアウト・サイダーの進出を見るに到り 4 社として未だ何等の對策も無きも共販の之に對する意向所置を承知したし

d 製鐵所 10 枚物は 11 枚物に願度し

(2) 理 事 會

1、値 段 薄物内地向は賣手の希望もあり、騰勢も一服と云ふ四圍の狀態に鑑み外注値段に逐次に追從する意味より 5 圓 上げに留め、輸出向は外注相場を参照して 5 圓の値下げとす。

厚物は買手希望もあり 3 枚物の如き外注との逆鞘狀態に就きては市況を加味する時は据置きが至當と思はるゝ故兎に角今月は据置きと決定した。

2、エキストラ改正の件は今月は未だ改正の時期にあらず従前通りとす。

3、數 量 前月より市場の狀態は稍變化含みにて流石の製品の賣行も一服と云ふ一方、95 錢迄の高値を吹きたるものが其後漸落となる等明確なる歸趨の把握も困難の現状なるのみならず買手の希望にもあるアウト・サイダーの考慮、豫想せらるゝ外注の入荷と云ふ事實もあることなれば、今回は數量は申越を見たる上決定することとした。

4、アウト・サイダーに對する對策は共販として考慮中

5、輸出向の受渡遅延の分に對する 延長は已むを得ざるものに就き買手希望通り承知す。

6、製鐵所 10 枚物を 11 枚とする件は工場と打合せの上決定すべし。

7、締切 24 日、25 日正午發表

決定値段表

薄物	内地向	輸出向
13 枚物	210 圓(5 圓上げ)	190 圓(5 圓下げ)
6 呎	212 圓(")	193 圓(")
7 呎	215 圓(")	195 圓(")
8 呎	215 圓(")	195 圓(")
厚物	内地向	
12 枚物	201 圓(据置)	7 枚物 190 圓(据置)
11 枚物	199 圓(")	6 枚物 185 圓(")
10 枚物	197 圓(")	5 枚物 182 圓(")
9 枚物	195 圓(")	4 枚物 180 圓(")
8 枚物	192 圓(")	3 枚物 175 圓(")

外注値段の通り

Black Sheets Quotation-For Domestic

February/March Shipment

	3'x 6' x 10sh.	3'x 6' x 6sh.	3'x 6' x 3sh.
Cif. Price	£ 10- 1-6	£ 8-11-6	£ 7- 9-0
Exch. @ 1/2. %	¥ 167.48	¥ 142.55	¥ 123.84
Int. 1.3%	2.18	1.85	1.61
Duty	43.50	43.50	30.67
Landing	1.00	1.00	1.00
Per 1,016 Kgs.	¥ 214.16	¥ 188.90	¥ 157.12
Per 1,000 Kgs.	210.78	185.93	154.65

Black Sheets Quotation-For Domestic

February March Shipment

	3'x 9' x 13sh.	Narr w Sheets
C.I.F. Price	£ 12- 2-6	£ 11-17-6
Exch. @ 1/2. %	¥ 201.59	¥ 197.40
Int. 1.3%	2.62	2.57
Landing	1.00	1.00
Duty	43.50	43.50
Per 280 sh.	¥ 248.71	¥ 244.47
Per 268 sh.	¥ 238.05	6'-348 sh. ¥ 703.36
		7'-290 sh. 843
		8'-260 sh. 9403
		325 sh. 232.67
		246 sh. 231.31
		Average.....¥ 230.86

Black Sheets Quotation-For Export

	£ 12- 2-6	£ 11-17-6
C.I.F. Price	£ 12- 2-6	£ 11-17-6
Exch. @ 1/2. %	¥ 201.59	¥ 197.40
Int. 1.3%	2.62	2.57
Landing	1.00	1.00
Per 280 sh.	¥ 205.21	¥ 200.97
Per 268 sh.	196.42	6'-348 sh. ¥ 577.5
		7'-290 sh. 693
		8'-260 sh. 273
		325 sh. 187.69
		276 sh. 191.27
		246 sh. 190.16
		Average.....¥ 189.37

4、5月積厚板共販賣出理事會—5 圓上げ

月日場所 2 月 22 日 大阪中央電気俱樂部

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵及大阪 4 社

議事 4、5 月積厚板賣出に關する件

(1) 買手希望事項

a) 外注は 18 弗 85 仙と續騰の形勢にあり、爲替も本日は低落して 20 弗半となり、諸掛 1 圓 90 錢として河岸着 117 圓 3 錢と

なるを以て無論値上げの餘地は多分にあるも 3 圓程度の値上げとされたし。

b) 耳付と定尺との値開きに關しては現在の 8 圓開きは餘りに不合理にて、値開きの擴張に就き豫て希望ありたるが、實情に即する様 13 圓乃至 15 圓とせられたし、然らざればシャーは結局衰亡の運命を辿るより道なきを以て是非考慮せられたし。

又それが爲め定尺が値上りとなるも決して外注を誘發する虞なしと確信す。

c) 現在市況は 6mm だけは外注入荷等の爲め下押となり、13 圓程度 8mm 以上の厚板は外注手當無きを以て定尺 14 圓以上を唱へ切板に至つては 15、6 圓と硬化し居れり。

(3) 理事會

a) 川崎に於ては現況に鑑み増産の必要に驅られ 3 月下旬より 3 班組織に變更の豫定にて、それが爲め 1,000 吨位の増産となる筈である。

b) 値段 先物値段は外註の値上り及び諸材料の異狀の値上りを考慮し又買手希望も加味し 5 圓の値上げとした。

隨時賣値段は四圓の狀勢上建値を見合せ引合の都度理事會に於て協議決定することとした。

4、5 月積先物値段

耳付 105 圓(5 圓上げ) 定尺 113 圓(")

厚さ 6mm ものエキストラ 3 圓

c. 數量 大體前月通りの次記となつた。

先物賣出數量 約 3,000 吨

d) 締切 2 月 25 日、2 月 28 日發表

3、4 積黑板共販締切理事會

月日場所 2 月 25 日 大阪電気俱樂部

出席者 川崎、徳山、中山、日鋼、製鐵及 4 社側

議事 3 月積黑板割當に關する件 薄物と厚物を通じ周境の不況を映して氣迷ひ深く、申込數量は前月に比べて約半数以下に著減した。

引受數量は大體前月の賣出數量を目標として内地薄物の一部を輸出向に振當て結局次の通り割當てを決定した。

申込數量

1、薄物部

内地向	輸出向
16,265 吨	2,690
計	18,955

2、厚物部

種類	内地向	輸出向
A	2,708 吨	80 吨
B	3,536	30
C	3,714	—
計	9,958	110

引受數量

1、薄物部

製造所	内地向	輸出向
川崎	5,680 吨	1,030 吨
製鐵	1,800	310
中山	2,000	300
徳山	970	260
日鋼	250	100
計	10,700	2,000

2、厚物部

製造所	A	B	C	計
川崎	1,500 吨	625 吨	375 吨	2,500 吨
製鐵	200	—	—	200
山	150	50	—	200
中	220	576	722	1,518
德	200	300	300	800
日				
計	2,270	1,551	1,397	5,218

4、5 月積厚板共販締切理事会—申込 3 萬 5,000 吨

月日場所 2 月 28 日 製鐵所東京出張所

出席者 浅野、東海及製鐵(川崎缺席)

議事 4、5 月積厚板の申込

近來の様に申込が必ず賣出數量以上となつては、申込も全然無意味となつて、最初の様に 15 萬だとか云ふ非常識の數字は見られなくなつて、今月も 3 萬 5,000 吨と云ふ數量で前月と殆んど變りがない。引受は耳付が前月より若干増加したと云ふものゝ大勢をどうすると云ふ程の數量だが結局 3,320 吨の引受と決定した。

4、5 月積厚板申込及引受高

区分	東京	大阪	名古屋	其他	計
向先					
川崎	700	2,500	—	—	3,200
浅野	4,050	1,500	—	—	3,550
東海	500	—	—	—	500
製鐵	7,220	4,700	20	217	12,157
無指定	1,365	11,550	30	362	13,307
計	13,835	20,250	50	579	34,714
申込高					
耳付	9,120	14,050	—	—	23,170
定尺	4,715	6,200	50	579	11,544
計	13,835	20,250	50	579	34,714
引受高					
耳付			3,090		3,090
定尺			230		230
計			3,320		3,320

ブラッセル齋藤囑託通信

8 年 1 月 20 日 發信 今週の市況は引續き人氣良好大體相場に保合ひ居れども棒鋼厚板スクラツプ等 1、2 志高を唱へ居候先便御報申上置候本月末の國際鋼塊カルテル再結成委員會は愈々最終のものとして成立を見越し人氣は益々硬化の兆有之候

8 年 1 月 30 日 發信 今週の市況は氣配は頗る良好なれども取引は一服の姿にて専ら來るべき國際鋼塊カルテル再結成の委員會の成行を案じ居るものゝ如きも今回こそは具體的に組織さるゝものと一般に信ぜられ 1 昨 28 日開催せらるべき委員會は 2 月 2 日に延期致され申候

市場には引續き日本筋の薄板シートバーの注文入込めりと申居候

8 年 1 月 30 日 發信

昨年度白耳義竝にルクセンブルグ鐵鋼產額竝に

本年度年初白耳義高爐活動狀況

昨 1932 年中白耳義の出鉄竝に鋼材產額は

前 年 中

出 鉄 量	2,783,500 噸 (3,231,680)
鋼 材 產 額	2,758,280 噸 (3,056,450)

にして記録的生產額を見たる 1929 年は何れも 400 萬噸を超過したれば此年に比し昨年度は漸く 68% の產額を示したりと云ふべし又ルクセンブルグ大公國の昨年度は

前 年 度

出 鉄 量	1,958,930 噸 (2,053,158)
鋼 材 產 額	1,955,665 噸 (2,034,943)

と公表せられたり

又本年々初高爐活動狀況は白耳義にありては現存基數 62 中火入中のもの 37、休基 25 ルクセンブルグにありては 45 基中火入中のもの 22 基を數え、白耳義各製鐵所別に擧ぐれば次の如し。

基數	火入中	休基	8 年 2 月 5 日
Sambre & Moselle	7	3	4
Moncheret	1	—	1
Thy-le-Château	4	2	2
Hainant	4	—	4
La Providence	5	5	—
Clabecq	4	3	1
Boël	3	3	—
Cockerill	7	6	1
Ougrée-Marihaye	10	5	5
Angleit-Athus	9	6	3
Espérance	4	3	1
Halanzky	2	1	1
Musson	2	—	2
62	37	25	

を見込み水曜の市日は閑靜ながら底意手堅き模様に見取致され申候

	Export	Inland
Bars	£ 2— 5—0	fr. 465
Angles	2— 6—0	465
Joist N. S.	2— 1—0	460
// B. S.	2— 2—0	470
Hoops (hot drawn)	3— 9—0	650
Blooms	1—19—0	350
Billettes	2— 0—0	365
Sheetbars	2— 1—0	365
Plates 3/8"	3— 0—0	575

國際鋼塊カルテル再結成委員會は前便申上候通り豫定の如く水曜市日の翌木曜日より當地に開催前回に引續き各會員國生產噸量割當につき討議相當曲折あり殊に獨白製造者間に意見の相違ありたる様子なるも翌金曜日(即ち 2 月 3 日)夕結局一致を見茲に年來の懸案なりし歐洲大陸鋼塊カルテルの再結成を見此回の取極めは向ふ 5 ケ年間を一期とし存續することとし其會員國生產量割當の標準を 1932 年上半年實際產額に取極めたるも年來の結成障害たりし白耳義國內カルテルは尙 1 メーカー(フォルジュ・ド・クラベツク)の異議ありしたため今尙全メーカーを包含することを得ず今回の國際カルテル結成に際しては國內カルテル組織を留保條件とせりと申居候尙細別竝に共販機關の組織等は次回の會合にて取極める由に御座候先不取敢御報申上候

東 西 市 況—上放れ—亂調子

帳端に入るまではザリ貧狀態を續け、前途聊か不安を思はせたが 24 日に到り俄然形勢は翻轉し、25 日の日曜日から 26 日に懸けては再び去年 10 月末の様に東西共に稍混亂の状態に入り其後は特殊なものを除いては漸く落ち付きとなつた。

今回の導火線となつたのは 6mm 鋼板の急需によるもので之が他鋼材に飛火し、26 日に於ては當所の探否照會が 3 ケ月の積止めと誤解されて一層油を注いた觀があり、4 社側から其は探否照會と辨明すれば、表面を云へば製鐵所は軍需其他で到底受注の能力がないのだが、表面だけ其の様な事を云ふて糊塗して居るのだと曲解する向があるに至つては何とも言ふことが出来ない有様である。然し一方 28 日頃より米國の金融不安が傳へられて爲替も硬化して來たのが一抹の不安を呼んで居るが、今の處は強氣が之を打消して遮二無二高値へ高値へと飛躍を續けて全部の鋼材が 3 度 10 圓臺以上を唱へる様になつた。

平常であれば 2 月 20 日前後の情勢を以てすれば、餘程の刺激も其大勢を挽回する力は無いのだが、今年は敢然之を跳ね返した處から見れば數量的か能力的か兎に角需要の勃興は争はれぬ事實と見られて居る。

東京市況

丸鋼 今回の奔騰の導火線は確か 6mm や 1.6mm 鋼板に在ると云ふのは事實だが事實的に硬化せしめた原動力は丸鋼の躍進である。今迄東西調子が合はず、一時は其前途を危ぶまれたのに最近協調成つたと云ふ報と、思ふ様出荷を見ないのが原因して反撥し、遂に臺變りとなるに及んで他の狂奔に連れ月末には大阪 11 圓、東京 10 圓 80 銭と上放れを演ずるに至つた。中丸以上は品掠れに益々上伸びして居る。

角、平鋼 來勘前より他鋼材と逆行して堅實な足取りを見せて居た角、平は轉轉後も消費筋の關係から狂騰する様な事もないが、平の如きは一日々々とザリ高を迫つて居る。

型鋼 小山の如きは 10 圓 50 銭まで軟化したのが一舉に 13 圓 50 銭搦みと上放れ、中山も大阪方面が當所の入荷によつて東京から流れるのが止つても一向値段に響かず益々堅調を傳へられて居る處を見ると東京方面の消費も相當のものに見られて居る。大形は落調續きに悲觀されて居たが、側杖を喰つて蘇生の思がして全部 10 圓臺に跳び上つた。溝、工では溝形が不相變品薄を楯に硬化し、工形は聊か難色ある状態であるが、概觀すると比較的小形物が堅調を迫つて居るのに反し大形物は無力を傳へられて居る。特に工形の 18 $\frac{1}{2}$ 以上の如きは地下鐵の不用品が 1,000 吨餘も市場に賣り出された爲め伸び悩むと云はれて居る。要するに今日の處では實需も相當はあるがそれよりも市場の思惑が力を形成して居る關係上出足の早いものが狙はれて居る爲めとも見られて居る。

鋼板 鋼板は流石に震源地だけあつて暴騰振りは劇しい、27日の如きは朝の間 19 圓を唱へて居た 1.6mm の如きは矢繼早に 20 圓 22 圓、24 圓と鰻上りを演じ夕方には遂に 26 圓の呼び聲きへ聞く程であつた。其他中板類も今の處混沌として只高値の一途を迫るのみ値段もマチマチにて真相の把握も困難である。6mm の如きは輸入品入荷氣構に一時 12 圓 50 銭賣迄陥落したのが反撥も反撥遂に 20 圓臺に迫るに到つては夢の様である。8mm 以上も一歩一歩上伸して先高を豫想されて居る。

大阪市況

丸鋼 我帝國は 2 月 24 日遂に國際聯盟と訣別し、一方熱河總攻撃もいよいよ開始されるに至つた。待機中にありし我鐵材界もそろ々活動を開始した模様で思惑買も誘發し本日(2 月 25 日)の商勢は相當活氣を呈してゐた。然し人氣沸騰點まではまだ相當距離があるものと見られてゐる。

6mm, 8mm は伸鐵物の生産過剰で先般來下押氣味にありしが昨今では荷動き旺盛となり従つて急反撥を演じた模様である。6mm は別表の如くで 8mm は 10 圓 5、60 銭見當を唱へられてゐる。中丸は市中極度の品掠れにて昨今の需要に應じ切れぬ有様と云はれ従つて相場は法外に高い。太丸は荷動き旺盛を極め相場は 13 圓見當である。

橋下の藻の蠢きや春の水

角、平鋼 角鋼は引續き荷動き捗々しからず氣配は呆りと云はれてゐるが 2 $\frac{1}{2}$ 並に 3 $\frac{1}{2}$ のものは軍需品として相當積出されし様子で従つて相場も他のものに比してやゝ高い平鋼は市中品掠れに加へて他鋼材の好調を移して市況は引締つたやうである。

型鋼 小形アングルは昨今約定品の入荷弗々あり且つ賣行香しからざる所から市中ストック漸増の態にて不冴。伸鐵物は材料高で高値唱へ乍ら商内は大して出來てゐない。中形アングルは出廻不順調にて且つ或寸法ものは一部思惑筋に偏在してゐるとの事で相場は

相變らず高い。然し近々當所よりの出荷あるべしとの豫想の下に目先これ以上の強調を望めまいとも見られてゐる。6 $\times$ 50 は先般來急反落を示してゐるが 6 $\times$ 65 は法外に高うやうである。大形アングルは賣行不振のため市中在庫漸増の態にて従つて相場も當所建値を境界に小高下を演じてゐる。チャンネルは引續き活況を呈してゐる 6 $\times$ 65 $\times$ 125, 6 $\frac{1}{2}$ $\times$ 75 $\times$ 150, 1 $\times$ $\frac{3}{4}$ $\times$ 3 $\times$ 6 等は市中品皆無とあつて相場は非常に高い。ジョイストは概して順調なる足取りを見せてゐる 75 $\times$ 125 $\times$ 250 は東西兩市場共品切れと云はれ相場も 16 圓見當を唱へられてゐる。10 $\times$ 125 $\times$ 250 は品掠れにて別表の如く高い。

鋼板 1、2 中板は外註入荷一巡と共に旗賣手合も影をひそめたため相場は上伸しつつあり。買手の食指の動き方どうやら商機の接近を思はしめるものがある。厚板は昨今需要期に入つたため 1 $\frac{1}{4}$ 厚等は先般來 30 圓方の暴騰を示すに至つた。然し目先外註入荷を氣構へて底意は幾分軟弱とも見られてゐる。

材線 熱河の戰雲急を告げるにいたつたのでこれは又皮肉にも支那より大量のバブドワイヤーの注文に接し市中品不足の昨今とて恰も火に油を注ぎし觀を呈するにいたつた。市中安値賣物見當らず

鐵力板 一般の賣行は捗々しからず。本國に入電毎に高値を報じてゐるので先物は相當高値を唱へてゐる様子である。目下不透明なる商狀を呈してゐるが四圓の狀況からして目先悲觀するには及ぶまいと見られてゐる。

1 月及 2 月中日誌

1 月 1 日 山海關南門で日支兩軍衝突激戦す。

製鐵所 1 中型工場は月 200 吨減産する事になつたが、第 2 次増産の魁として 2 中型月 700 吨第 1 小型月 700 吨の増産を開始す。

4 日 大發會の各清算市場は氣配良好にして相場強含み。

5 日 米國商務省發表目下金本位停止國は 45 ケ國、内公式に金本位制の運用を停止せるは 34 ケ國即ち英本國、瑞典、ノルウェー、フィンランド、デンマーク、ギリシャ、ポルトガル、スペイン、日本、印度、シヤム、海峽殖民地、ラテン、アメリカ諸國、北ローデシア、メヤツサランド、モザムビーク、エジプト、パレスチナ等の英國領にして爲替管理により事實上金本位制を停止せるは 11 ケ國で、主なる國は埃國、獨逸、ハンガリー等である。

6 日 日銀調査東京卸賣物價は各々 其の前月に比して 7 年 11 月は 5 分 2 厘方、12 月は 3 分 8 厘の昂騰で、洋鐵卸賣値段の指數は明治 33 年 10 月を 100 とすれば 12 月は 122 となつた

7 日 9 日拓務省へ提出豫定の昭和製鋼所設立正式認可申請書内容は、資本金 1 億圓。工場は鞍山に設置。製品は銑鐵 40 萬吨、鋼材 35 萬吨で、鋼材は内地へ 20 萬吨、残りは滿洲の需要に當て内地向は半製品、地賣はレール、大型建築材料、薄板等の精製品であると。

3 月積丸鋼ベース關東鋼材建値 89 圓。丸鋼ベース 1 月上旬外注採算は 100 圓なれど東京市中相場は 130 圓となつて外注を上廻る。

製鐵所平鋼工場月 1,000 吨の増産開始。

7 日現在の日銀帳尻は年末來 3 億圓を收縮、發行高 12 億圓を割る

9 日 短期新東 229 圓の新高値を現出したるも 2 圓臺に引け落調に轉ず。

11 日 今後の印度銑の輸入激増を見越して年額 10 萬吨乃至 15 萬吨を最大限として印銑に供給者たるの資格を附與して制御無き競争を防がんとする印度銑輸入割當制採用説擡頭するに至つた。

- 12 日 聯盟事務局案成つて 19 ケ國委員會に報告の運びとなる。
- 14 日 昭和鋼管は鋼管製造工場設備により小口径鋼管(2 吋半以下)、バット式年産 2 萬 5,000 噸、中口径鋼管(2 吋半乃至 6 吋半)、引拔シーブレス式年産 3 萬噸、大口径鋼管(6 吋半乃至 13 吋)、ラップ式年産 5 萬噸、合計 10 萬 5,000 噸を生産し設備の都合順調なれば 6 月より小口径鋼管の製品を賣り出す筈と發表さる。
- 16 日 製鐵所型鋼工場 2,000 噸増産開始す。
- 18 日 東京鐵力板間屋組合設立さる。
- 20 日 關東鋼材は 3 月積 16,000 噸、4 月積 21,000 噸受注に決す。
- 21 日 19 ケ國委員會 開催さる。委員會はドラモンド案を認めず 12 月案に歸り、米露招請を斷る代りに其他全部を認めよと迫る。
- 22 日 日本鋼管は大口径鋼管の製造を今後 1、2 ケ月間の中に開始する筈。
- 23 日 聯盟愈々日本に對して第 15 條第 4 項適用に決す。
- 25 日 勸告案起草委員勸告案の起草に着手す。
- 日本鋼管、昭和鋼管のは 6 吋以上の大口径鋼管合同生産説生る。
東京鐵鋼市場の空氣は「疲れ氣味」
丸鋼 9 圓 90 錢、角鋼 10 圓 50 錢、平鋼 11 圓、型物不冴、板脅え
- 27 日 鋼材聯合會にて丸鋼ベース 3 割、12mm 4 割 増産 2 月以降 5 月まで適用に決定す。
- 28 日 6 年 5 月以來廢棄の銑鋼比率協定は條文を修正して復活に決す。
- 29 日 製鋼界一齊に増産計畫を樹立、但し思惑による需要増加警戒さる。
- 30 日 株式異に聯盟悲觀漸く濃厚に反映、軍需株を除き全般的に投げ退く。
- 獨逸ヒットラー首相となりパーベン副首相となる。
- 製鐵所 1、2 小型工場月 2,500 噸生産を 2 小型を動かし月 3,300 噸とし 800 噸増産する第 3 次増産計畫決定す。
- 31 日 米國ユー・エス・スチール會社では昨年第 4 期の優先株配當を 50 仙(前期より 25 仙安)と發表。尙ほ普通株は續いて無配
- 1 月 中 爲 替 相 場

月日	對英	對米	月日	對英	對米
1. 4	1-2- $\frac{1}{16}$	20- $\frac{1}{2}$	1. 18	"	"
6	"	"	20	"	"
7	"	"	21	1-2- $\frac{3}{16}$	20- $\frac{3}{4}$
9	1-2- $\frac{3}{4}$	20- $\frac{5}{8}$	23	1-2- $\frac{7}{8}$	20- $\frac{7}{8}$
10	"	"	24	"	"
11	1-2- $\frac{5}{8}$	20- $\frac{1}{2}$	25	"	21- $\frac{1}{8}$
12	"	"	26	"	"
13	1-2- $\frac{3}{4}$	20- $\frac{5}{8}$	27	"	21-0
14	1-2- $\frac{13}{16}$	20- $\frac{3}{4}$	28	1-2- $\frac{3}{4}$	20- $\frac{3}{4}$
16	1-2- $\frac{3}{4}$	20- $\frac{5}{8}$	30	"	20- $\frac{7}{8}$
17	"	"	31	1-2- $\frac{13}{16}$	21-0

- 2 月 1 日 第 2 小型工場復活作業を開始す。
- 製鐵所八年度の重軌條受注數量は 24 萬噸と云はる。
- 3 日 陸軍兵備計畫。9 年度以降 21 年度迄に 4 億 1,000 萬圓計上さる。
- 4 日 歐洲國際鋼塊カルテル更改、今後 5 ケ年繼續。歐洲鋼材建値上向く。
- 6 日 日銀調査。東京卸物價品目 56 品中騰貴したもの 21 品、低落したもの 25 品總平均指數は前月に對して 2 厘方微騰と云はる
- 19 ケ國委員會の形勢極度に惡化し聯盟との對峙不可避となる。
- 鋼材運賃 20s+20% なりし處 20% の surcharge 撤廢さる。
- 7 日 U・S スチール、スタンダードオイル、ゼネラルモーターズ等

- 一流株減配の報に米國財界沈衰を傳へられる。
- 9 日 19 ケ國委員會より「日本は滿洲國を認めるや否や」との質問來る。委員會は認めず日本は認める建前の變更は想像されないもので對聯盟との關係は事實上缺裂と云はる。
- 10 日 諸商品落調昨年 10 月の値頃に還る。鋼材市價は鋼板軟調なれども全般的には硬軟區々無物高に尙ほ強調を持續してゐるものもある。
- 13 日 對聯盟觀念に株式一齊に崩れ、10 日 180 圓 60 錢に引けた短期新東は 20 圓方下押し 160 圓飛臺となる。
- 14 日 22 億 3,900 萬圓空前の大豫算案衆議院を通過す。
- コロンビヤ、ペルー兩國はレティシア市の領有問題に絡まる紛争の結果遂に戰端を交へるに至つた。
- 15 日 國際不安を反映して恐怖人氣を醸成し短氣新東は 146 圓 20 錢と前日より 17 圓 20 錢安、鐘紡も 118 圓 10 錢と 29 圓 90 錢方の慘落、長期取引の諸株も鐘紡の 13 圓を筆頭に 1、2 の例外を除き軒並 1、2 圓より 5、6 圓安。國際市場も 5 分利物 1 圓 2—30 錢より 1 圓 8—90 錢安、佛價 4 分利は 6 圓安。主要取引所後場立會中止。
- 宮内大臣一木喜德郎退官、湯淺倉平就任。
- 16 日 造船聯合會對厚板共販との造船用鋼材取引値段は 103 圓で折合つた由。
- 投げ物一巡に諸株急反撥し短期新東は 19 圓の大輻飛。
- 18 日 米國に於てはミシガン州の銀行休業、ルーズヴェルト次期大統領暗殺未遂等々惡材料嵩みドル價の顛落甚しく、通貨流通額は有史以來のレコード 58 億 5,400 萬ドルに上り、フランスは平價を越へ米英爲替は 3 ドル 44 セント $\frac{1}{4}$ に續騰す。
- 21 日 熱河討伐開始さる。
- 24 日 國際聯盟に於て日本の反對も空しく 42 對 1 にて勸告案採擇され我代表絶縁の宣言を朗讀して決然退場す。
- 25 日 製鐵大合同案本日臨時閣議に上程、その承認を得たので 28 日の衆議院本會議に上程の筈。
- 米國メリーランド州全銀行休業す。
- 28 日 製鐵合同案衆議員に上程委員附託となる。

2 月 中 爲 替 相 場

月日	對英	對米	月日	對英	對米
2. 1	1-2- $\frac{13}{16}$	21-0	2. 16	1-2- $\frac{3}{8}$	20- $\frac{5}{8}$
2	"	"	17	1-2- $\frac{1}{16}$	20- $\frac{3}{4}$
3	"	"	18	"	"
4	"	"	20	12- $\frac{3}{8}$	20- $\frac{5}{8}$
6	"	"	21	"	"
7	"	21- $\frac{1}{4}$	22	1-2- $\frac{5}{8}$	20- $\frac{1}{2}$
8	"	"	23	"	20- $\frac{3}{8}$
9	"	"	24	"	"
13	1-2- $\frac{3}{4}$	21- $\frac{5}{8}$	25	1-2- $\frac{1}{4}$	20- $\frac{1}{4}$
15	1-2- $\frac{1}{16}$	20- $\frac{3}{8}$	28	"	20- $\frac{3}{8}$

販 賣 旬 報 第 223 號 昭和 8 年 3 月 11 日

製 鐵 所 販 賣 部

米國の金融恐慌と我鐵鋼界

昨年末ルーズベルト氏が米國大統領に當選すると同時に、金輪禁止と云ふ一抹の妖雲が海の彼方にボツカリと姿を現はし、其噂は一進一止、消えたかに見ゆると思ふ間に折に觸れては姿を現はすと云ふ如くして経過したが 2 月 24 日に於てミシガン州の銀行休業に端を發し事態急變した、一方 14 日に到り、日本が聯盟脱退を宣言して世界の一大問題は兎に角一應は行き盡す處まで行き我國民の胸底に去來常なき不愉快なる課題も行くべき處は一途と定まりて、愈

々決心の臍を固めて寧ろ清快の心地した翌 25 日に到りて彼の妖雲は急に羽翼を張り銀行の休業は踵を接して起り、12 州は 18 州となり、前途甚だ危惧の念に堪えざるものがあつたが、世界一般の觀察としては過去に於ける米國の金融界に於ける勢力と特に最近に於ては大戰の痛手を受けたる歐洲大陸の疲弊したる状態により相對的に益々其力を強化したる觀あるを以て、恐らくその金融界の梗塞も中途に於て阻止せられ平常に還るものとし、全米に波及するが如きは杞憂に終るべきを豫期したるに事は案外に運び 3 月に入ると共に益々彌漫し恰も燎原の火の如く勢猛に風靡し雲は風を呼び、妖雲全く全米を蔽ひ遂にさしも堅壘を誇つた紐育まで陥れ、全世界を驚嘆せしむるに到つた、然し 5 日の朝までは其日就任した新大統領の方策に一縷の望を懸けて居たが、同日夕方方につては遂に刀折れ、矢盡きて 6 日より 9 日迄全米銀行休止と云ふ全世界を震駭せしむる霹靂は沛然たる大雨と共に降り注ぎ、6 日朝に到つて全世界を驅つて右往左往して施す處を知らずと云ふ状態に立ち到らしめた。

茲に於て 6 日には世界の取引市場は休止に入り爲替取引は全部中止され、金融機關は全く其機能を失ふと云ふ空前の事態を現出するに到つた。

我鐵鋼界は昨秋 9 月の爆發以來多少の起伏はあつたが、兎に角異状の好調裡に越年し 1 月も無事過ぎて 2 月に入るに及んで、聊か中弛みの感を懷き、20 日前後に於ては頽勢となり、或は此儘軟化を続けるにあらずやとさへ思はれたるに聯盟脱退と機を同じふして鮮かに翻轉し 2 月末より 3 月初めに懸けては昨年 10 月末に強く暴騰振りとなり前途益々多事を思はせるものがあつた。

然るに 6 日に到つて突如米國の金融恐慌に遇ひ一時は全く其歸趨に迷ひ、6 日、7 日は殆んど賣買共中止の状態となつたが、8 日頃よりは稍冷靜を取り戻し弗々と取引に手を染む様になつた。若し假に是が不況時に遭遇したとすれば、恐らく市場は全く混亂状態となり亂賣は亂賣を呼び恐らく收拾すべからざる有様となつたであらう、蓋し幸なる哉である。

鐵鋼の關する限りに於ては我國と米國とは屑鐵、鉄力、其他僅少の品種以外大なる交渉を持たず、其大部分は歐洲を對稱としたものである、故に極端に云へば今回の米國の恐慌は鐵鋼界に採りては無影響と云ふことが出来る。

爲替關係に於ても今日の弗建は英國の金輸禁止による變態的の現象で、それが再びスターリングに還るまで之も何等の痛痒を感じないと云ひ得る。

然し此は一應の理論で實際問題としては未だ嘗つて經驗せざる重大なる多種多様な要素が錯綜して前途は全然豫測を許さないもので到底机上の計算の耐え得る處ではない。

先づ第一に關心な事項は日米爲替が何處に落ち付くと云ふことである、5 日、6 日の空氣では或は 30 弗と云ひ、27、8 弗と云ひ 25 弗と云ひて甚だしい不安に驅られたが 7 日、8 日に到つて到底 25 弗以上には出まいとの説も流布されて全く暗中摸索の體であるが、最初の衝撃が甚だしかつたゞ其後は極端な樂觀も現はれて株式市場まで稍落ち付き氣味であるが、之も要するに皆捕らぬ狸で愈々とならなければ誰れにも判斷し得ない處で、今日に於ける極端なる樂悲は投機師以外は決定し得ぬ問題である鐵鋼も若し極端なる弗の落調を示せば今迄如何に無關係とは云へ相當の脅威を受くるは當然であるが、然らざれば大なる影響を受けぬは自明の理である。

其他の問題としては 10 日以後の銀行の開否、金輸禁止の負有無貨切下げ、等々が数へられることがこれとて誰れも豫斷し得ざる

問題で從つて其影響も全く豫測を許さざる状態である。

只常識的に考へ得る範圍は將來に於ける米國のインフレーションで、此點のみより見れば我國の鐵鋼は決して脅かされる心配は無いと云ひ得るであらう。

要するに今日迄の状態を靜觀すれば決して好ましい材料とは云ひ得ざるも未だ俄に悲觀するにも當らないのである。

新聞紙上では或は強いて樂觀を裝ふて「不安去る」などあれど、今日までには決して不安は去つたとは云ひ得ないと同時に極端な悲觀もなし居らずと云ふが真相で變轉極まりなき時々刻々の状態に應じて我鐵鋼界の振子も之に操られて暫くの間は右に左に振り上げ振り下されるであらう。

斯くの如く米國の恐慌は我鐵鋼界に對し今日までの状態では表面的には大なる變化を與へなかつたが、深奥には力強い重壓を加へ、一般に精神的の不安に襲はれて居るのは事實である。

米國の問題とは無關係ではあるが米國のそれとは反對に近き將來に表面的に壓迫を加へるであらうと思はれるは「輸入」である、自信と己惚が紙一重と同様に不足と過剰も亦甚だしく類似のものである。彼れを思ひ此を案ずれば昨秋以來稀有の幸運に恵まれたる我鐵鋼界も前途益々多事を思はせるものがある。

3、4 月積鉄力板の締切

限定されてゐる本所現在の能力に對して定期契約の數量は増加するし特殊需要も益々旺盛となつて來たので勢ひ先物の領域に食ひ込まざるを得ない事となつて、先月よりも 200 吨減少して 600 吨の賣出しであるが勿論現在の買手の欲求とは遠い距りがあるので申込は省略して 2 月 14 日賣出協議會直後次の通り割當てられた。

3、4 月積鉄力板申込及引受高

區別	申込高	引受高		
		100lbs	170lbs	計
向先	—	83	186	269
東	—	84	197	281
大	—	7	16	23
名	—	7	20	27
其	—	—	—	—
計	—	181	419	600

2、3 月積及 3、4 月積中型山形の申込と引受—何れも最大限

當所品の積遅れと、底力ある需要の爲め東西共に極端なる品昂を囁かれてゐるので外注値段が軟調で、而もアウトサイダーも再登場するとか、積遅れ品も出廻るとか、とつづくに弱氣を誘ふ材料も聊の刺戟とならず買氣益々旺盛兩月ともはち切れ相な勢で定期と云ふ桎梏が辛じて爆發を抑へてゐる相と云ふべきであらう。兩月の申込及引受状態は次の通り。

2、3 月積締切日 12 月 24 日 3、4 月積締切日 1 月 19 日

2、3 月積中型山形鋼申込高

	京濱揚	伊勢灣揚	阪神揚	計
等	2,889	260	2,900	6,049
不	261	20	670	951
等計	3,150	280	3,570	7,000

3、4 月積中型山形鋼申込高

	京濱揚	伊勢灣揚	阪神揚	計
等	2,859	280	3,038	6,177
不	290	—	535	825
等計	3,149	280	3,573	7,002

2 月中三港輸入概況

1、先年末以來外注成立の聲が喧しく傳へられてゐたが、前年同期と比較すれば本年 1、2 月共約 1,000 吨宛少く累計に於て 2,000 吨の減少を示してゐる。

爲替が下り、關稅が上り、製鐵業の實力が涵養され、販賣統制が

成つて外注を極限したが需要の急増、供給の不足市況の狂奔が夫れ等の障壁を越へて、外注に走らせる事となつたと云へ對聯盟關係の不透明、景氣の先行懸念がブレーキとなつて此の程度に止つたと云はれてゐる。

2、棒鋼は先月と大差なく 800 吨である。内珍らしくも大阪が過半数 570 吨で而も市場向と見られる物が丸 5mm 以上 25mm に 150 吨、角 5mm 以上 16mm に 85 吨、平 9mm 以上に 190 吨、計 425 吨と殆ど其の大部分を占めてゐる。神戸、横濱は平靜常に變らず特殊物に限られる。

型钢は造船用、實需向、寸法は國內に無い物と云つた工合で數量も激減して全然輸入されない月が多く殆ど跡を絶つたと云へる状態であつたが、今月は久しぶりに約 400 吨入り而も其の半數が市場に出る物らしく神戸の小型山形 20 吨、大阪のスクラップに課税された物 80 吨がそれで大阪の溝形の中 130 吨も當時の成行相場で出来た物と云はれてゐる。何れも極く少量ではあるが最近見られなかつた現象で時勢は此處にも反映してゐると云ふ事が出来る。横濱の溝形全部は造船及建築用の輸入者自家用鋼材で變則無し。

其の結果と指導精神の良し悪しは別として商賣上から見れば今月の條鋼は完全に大阪方に軍配の上つた格構である。鋼板 0.7mm 以上を洗ふと神戸 中板 13 吨、厚板 178 吨、大阪中板 439 吨、厚板 802 吨、横濱中板 520 吨、厚板 313 吨三港で中板 972 吨、厚板 1,293 吨、計 2,265 吨が純然たる思惑品である。

活況が中板から厚板に移つた時に輸入も中板から厚板に轉じてゐるので、うまくやるものだと思ふに及ばず感歎せざるを得ないが、15 萬吨の申込は少し馬鹿氣であるとして 5 萬吨、4 萬吨と厚板共販に物凄く殺到した當時の餘波なので之れも亦致し方の無い數量とあきらめ、儲けるのが商賣である以上避け難い事象であると歎じて餘計な口は叩かない事とするが米國に金融恐慌の起つた今日或は面白くない思をなさる方もあるのではないかと他人事ならず頭痛の種である。

0.7mm 以下は平穩無事。特殊品に限られてゐる。

鉄力も先月と變らず約 5,000 吨輸入され其の内容も愈々本腰に正規の寸法良質の物を輸入する傾向となつたが、大阪だけは 2,000 吨の内 1,300 吨が W.W である。販路が廣く商賣上手なのであらうが若し安からう、悪からうで間に合ふならば内地メーカーも亦充分考へねばならぬ問題である。

軌條、大阪の 55 吨はスクラップ、横濱の 20 吨はエレベーター用である。

線材、今月は神戸に供託品無く、大阪に 6 番線 200 吨、5 番線 340 吨、計 540 吨、横濱に 7mm 50 吨、5 番線 200 吨、計 250 吨が供託されて居るが噂の大きな割に輸入は大して増加されず 1,000 吨そこそこの數量に止つてゐるのは内地の増産が確定してゐる今日尤もとうなづける傾向である。

神戸のシートパイリング 350 吨は例に依りラルゼンでストック品であると見られてゐる。本品は前年下半期以來月々根氣よく輸入されて本月迄に累計約 3,500 吨となつてゐるが現在の本所の能力としては無理の無い數量ではあるまいか。

鋼管も先年の 11、12 月が極度に僅少で 100 吨以下であつたが概念上は、2、300 吨の輸入が常態である然しながら今後は昭和鋼管も設立され日本鋼管も大口徑鋼管の製作に着手するとの事なので愈々小範圍に於いて一高一低を辿る事となつたと見られてゐる。

「其の他」900 吨の中で今月目立つて多いのは縞鋼板の 600 吨で

ある。供給力不足で極度に品切れを啣たれ加ふるに市況が強調一點張りであつたので期せずして一時に輸入されたのであるが、月 300 吨乃至 500 吨の需要に過ぎない此の品種として 600 吨の入荷は多きに過ぎるのではあるまいか、縞鋼板以外の大部分は特殊鋼で約 280 吨となつてゐる。

3、本年に入つて 1、月 2 月 共輸入は 1 萬餘吨で、鐵鋼界異常の沸騰振を現出した昨今としては大出来の數量であるがブレーキであつた對聯盟關係と景氣の先行に對する見透しがつき、製鐵合同の目鼻がつきそうなので、今後 5、6 月の頃までの輸入は決して此の儘では過ぎされない運命にあると見られてゐる。然しながら 5、6 月の頃輸入が増加すると云ふのも需要期であると云ふ事よりむしろ先年來は内外共外交に、經濟に、餘りにも重大問題が雲集したので需要期、不需要期を超越し世界的大津浪のうねりのまにまに浮動して從來の經濟的慣例に支配されるのではないと見るべきであらう。

輸入を乗せてノアの箱船は何處に行くのであらう。難關はそれからそれへと連つて茲に復 2 月末から 3 月初めにかけて全米の金融恐慌に直面したので内地増産と相俟つて舞臺は三轉、輸入極限から現在の輸入招來へそして再び輸入激減の段階に入るのではあるまいか、とは云へ對聯盟は？、極東問題は？、米國の金輸禁止は？、誰が決して其の行衛を突き留め得ぬ謎の連續である、どうして輸入界にのみ推斷豫測が許されやう。曰くお先眞暗と云ふのが本音であらう。

ブラッセル齋藤囑託通信

3 月 5 日 入電 市場鈍調にして下押氣配、相場次の如し。

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S)
2—7—6	2—7—0	2—9—0	2—4—6
鋼 板	シートバー	ビレット	
($\frac{3}{16}$ ")	(assorted)	(4")	
3—4—0	2—3—0	2—2—0	

2 月 7 日 発信

歐洲大陸鋼塊カルテル再結成 歐洲大陸に於ける國際鋼塊カルテル再結成並に共販機關組織に就ては昨春以來屢々巴里、其の他の地に於て關係國代表會合論議を重ねたるも、割當數量に關して白耳義メーカー中異議を唱ふるものあり。爲に國內カルテルの結成に支障を來し、國際委員會再開を不能ならしめたるも、昨秋以來一般鐵鋼市況の恢復のためと各種産業の國際的協定成立に刺戟され、且つ一般財界恢復の曙光見えれば益々斯業者は其再結成の必要を認め、白耳義國內メーカーも、其結束の 1 日も忽にすべからざるを自覺し、舊臘漸く其一致を見るの機運に立到り、12 月 17 日巴里に第 1 回の國際代表の顔合せを行ひ、具體的條件を研究討議し、第 2 回目は去る 1 月 12 日當ブラッセル市に開催せられ、統計調査委員會の調整せる 1931 年並に 1932 年度各加盟國鋼材品種別生産量を基礎として割當數量取極め並に半製品及工形鋼材輸出共販機關組織の討議を行ひたるも白、獨、兩國委員間に割當量を定むべき基礎數字につき意見の一致を見ず、更らに第 3 回委員會を 2 月 2、3 日の兩日再び當地工業中央委員會館にルクセンブルグ國アルベド會社長司會の下に開かれ、又々割當量に關し白、獨兩國委員間に激論を蒸返へし、然かも白耳義メーカー中國内申合せ割當量に不服を唱ふるものさへありて國內的さへ再び一致を見ざる始末なりしもこは結成後強制的に協定に加入せしむる事を條件として、遂に 1932 年上半期の各加盟國(即ち獨、白ルクセンブルグ並に佛國)實際生産量を基礎とし今後景氣の如何により其の増減を伸縮せしむることとして、兩年來懸念なりし、歐洲大陸鋼塊カルテルの再結成實現せら

れ、今回の協定を向ふ 5 ケ年を一期として存続することとせり。

尙細則の制定輸出共販機關の組織に關する討議は近く開かるべき次回委員會にてなすべきこととせり。

今回の結成に關し常に態度強硬なりしは白耳義にしては第 1 回の協定たる 1926 年に於て頗る、不公平なる割當量を強要せられたるに懲りたるがためなりと、本協定の成立は今後世界鐵鋼市況に大なる反響を與ふるものとして英、米を始め各國業者の注目する處なるべく本カルテル並に近く組織せらるべき輸出共販機關の本部は前回通り當ブラツセル市又はルクセンブルグ市に其本部を置くこととなるべく當市の世界鐵鋼市場に於ける立場の重要な度今後益々加重せらるゝものと云ふを得べし。

抑も本協定の沿革を見るに 1926 年 9 月獨、白、ルクセンブルグ佛並にザール製鋼業者間に於ける生産量割當に關する協定に始まり割當量は前年即ち 1925 年度實際産額を基礎とし産量申合せ吨数を超過せる場合該加盟國の超過吨に對し、4 米金弗宛の違約積立金をなし反之産額割當量に達せざる時は 1 吨に付き 2 米金弗宛の割戻金を受入るゝも、1 割以上の減産に對しては此補償金を受くるを得ずと規定せるも此等條件の細則は爾來數度の變更を見たり。

協定當時の基礎産量たる加盟國總産吨数は 2,500 萬吨にして其割當率は次の如し。

獨	白	ザール	佛	ルクセンブルグ
43.2%	11.6%	57%	31.2%	8.3%

而して協定國割當産總量 3,500 萬吨を維持すべき處 1927 年以來歐洲財界の立直りと共に各國共増産を見 1927 年には 3,250 萬吨 1929 年には 3,500 萬吨を超過せるも 1930 年以來財界不況の度深刻化すると共に再び各加盟國共減産昨 1932 年度には 1,700 萬吨臺に低下せり。

今 1931、32 兩年度國別鋼材産額を擧ぐれば次の如し。

	1931 年	1932 年
獨	8,292,000t	5,710,000t
佛	7,808,000	5,475,000
白	3,056,000	2,758,000
ルクセンブルグ	2,035,000	1,955,000
ザール	1,538,000	1,430,000

尙第 1 回協定は 1931 年 3 月満期となり、爾來暫定的に數ヶ月宛繼續しつつありしが、遂に同年夏期の交以來事實上解消せられ本日に至れるなり。

2 月 10 日發信 市況の果然沸騰したるは前報の通り鋼塊カルテルの結成輸出商談殊に日本よりの入注引續き盛んなるため先週の相場に比し一舉 5、6 志高を唱へ居り賣手は中々の強腰に見受けられ申候

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2—10—0	fr 500
Angles "	2—10—0	500
" (med.)	2—12—0	—
joist N. S.	2—4—6	470
" B. S.	2—5—6	480
Hoops (base)	3—8—6	650
Wire Rod	4—13—0	800
Plates 3/16"	3—5—0	600
Bloobms 4in ches	2—0—0	345
Billettes (4")	2—1—0	365
Sheet bars (assort)	2—3—0	390

鋼塊カルテル並に共販機關組織委員會は昨日及本日當地にて明日はルクセンブルグに於て開かれ今週中には具體的に其組織を了へることと一般に信じられ申候

2 月 17 日 發信 愈々國際鋼塊の結成、近く共販機關組織を氣構へメーカーは強氣一方にて相場先週に比し又々 1、2 志高を唱へ

申候

去る 11 日のルクセンブルグ委員會は愈々具體的の輸出量の各加盟國割當を定め次回の巴里會議(多分今明日開かれしものゝ如し)にて共販機關組織の内規を定むる手筈と申候尙今回のカルテル割當量は一に輸出量を定め生産量は論ぜざること第 1 回のカルテル取極めと異なり小生前便にて又々生産量割當と申上候は輸出量の誤りにつきこゝに訂正致候即ち先般のブラツセル會議にて一致を見し 1932 年上半期の數字を基礎とせる基本輸出量は 680 萬吨とし白、ルクセンブルグ聯合グループ割當率は 26%とし残る 74%は獨、佛間に割當てらるゝ手筈なりと申居候割當量は 3 ヶ月毎に取極め更改せらるゝものにて前便申上候通り市況の如何により其量は伸縮せらるゝべく總輸出量 1,100 萬吨を超過するときは割當率は不動のものとする由にて候

而し本日巴里會議の結果聽込めるときは直ちに電報申上度存居候

東西市況—形勢觀望

實に目まぐるしい一句であつた。

前旬 24 日の顛轉により引續き盛に火の手を擧げて居たが、3 月 3 日の午前 2 時 30 分の三陸を襲ふた震災は、釜石の出荷不能を氣構へて俄然大阪方面の丸鋼を刺戟して一舉に 12 圓まで引き摺つた、越えて 6 日には米國の 9 日までの銀行業務の停止により全世界の金融界を暗黒にした爲め、鋼材市場も一時全く去就に迷ふた形となつて昨日の勢は全然影を潜むるに至つた。

それが爲め實需筋も急に手を引き、仲間の賣買も全く地を拂ひ、此儘推移する時は強力な反動安が来るかに見えたが、元來鋼材の大部分が米國と大した因縁も無いと云ふことや 8 日午後再開かれた株式市場の形勢も當然下放れは有つたが豫期以下となる様な事もなく引際には反騰さへ見られた程なので結果が樂觀説が割に多かつた爲め 8 日頃から弗々と商内も初められた模様である。

とは云ふものの勿論之は強氣材料ではないが大體市場のストツクも減少し、國內需要が相當あることも豫期されて居るの中和劑となつて、茲許暫く賣買共總見送りで形勢を觀望し、落ち付き次第何れにか急速度で轉換するものと見られて居る。

東京市況

丸鋼 前旬以來明朗となつた丸鋼は前述の通り釜石に端を發して上放れとなつたが、其後聊か落ち付氣味となつた儘動かず、四圍の狀勢上先物の商内も出來ず、中丸以上は不相變の品掠れに上伸の一途を辿つて居る。

角、平鋼 角、平も高値の儘變らず、角の 65 の如きは手持薄に 14 圓と高値を吹いて居る、平も何等の影響も見えず只見送りの爲め賣行鈍く、それとて買に廻れば高値で寄り付けずと云ふ有様と云はれて居る。

型鋼 各鋼材中の白眉は中山である。極度の品掠れと出荷不足によつて硬化を續け安値のものも 14、5 圓を呼んで居る 有様である。浮沈常無きは大型物である、外注値段も爲替も論外として只々當所のロール表と睨めくらをして入ると見れば一舉に 4、50 圓の暴落となり、無いとなれば反騰すると云ふ様で値段も甚だしくマチマチで真相把握に困難である、等邊、不等邊共兎に角ガリ高傾向で特に溝形は不相變品切れ物多く従つて突飛の高値物も多い様に見られ工形は戻り程度であるが大きいものは未だ甘い。

鋼板 厭きずに騰落を繰返すは中板で猫の眼の如く變轉極りない、1.6mm の如きは一時 25 圓までの呼聲のあつたのが 20 圓そこそこまで反落したかと思ふと西路の高値を聞いて引き返す状態で

あるが、今の處は一時程の氣勢は無い、然しこれとて何時どう變轉するか一寸先は闇である、23 は3×6比較的堅調、82不動賣行不振なるも駢り、60 は一時奈落の底へ落ちたのが奔騰し、今は落ち付き模様と傳へられ、80mm以上の厚物 16 圓の堅壘を守つて上下共動かず。

大 阪 市 況

丸 鋼 全米國金融界に大きなヒビが入り經濟活動は完全に不隨に陥つた。これにより世は全く原始的經濟へ逆轉したやうな觀がある。如何に我國の財界がこれあるを豫期してゐたにせよ昨 6 日の市中或種の商品界は周章狼狽の有様であつた。然らば我鐵鋼市場はどうであらうか。筆者の見る所によれば案外平靜を保つてゐるやうである。即ちスクラップを除く外一般鋼材の米國との取引或は弗建による取引は最近著しく減少を示すに至つたのもこれが原因の一つであらう。然し大手筋は即刻弗よりスターリングに切かへたのは事實であるが昨今の鐵の商勢から見て目先大して悲觀するに及ぶまいと見られてゐる。

細丸 6mm. 8mm は主として伸鐵方面より供給されてゐるので材料の關係もある所から相場は動きも小さく商内の妙味に乏しい様子である。ペース物は過般各メーカー共 100 圓以下に賣らぬとの報に市況は依然駢りを唱へられ 36mm 以上 48mm のものは市中極端なる品掠れで相場は 12 圓と目立って高い。中丸は共販よりの出廻り不順調なるため相場は異常なる反騰を示してゐる。太丸は凡調程に推移し従つて相場も中丸に比して稍下値である。

二日酔乗せて出けり春の海

角、平 鋼 角鋼は一般に堅調を傳へられてゐる。44mm 以上の中形ものは在庫潤澤ならざる關係から相場も幾分高い。平鋼は總じて品薄にて強含保合である。名古屋方面は品皆無の由にてこの方面よりの引合も相當あるやうである。

型 鋼 小型アングルは當所よりの手當薄の所へ先般東京よりの思惑買があつたとのことで氣配は小駢りを傳へられてゐる。中形アングルは日用品であるだけに共販よりのデリバリー圓滑を希望してゐるやうである。6×50. 6×65. 9×75 は花形役者として大いに活躍してゐる。大形アングルは品切れ寸法ものもあるが概して普通の在庫を有し目立つた商内は出来ない様子である。チャンネル 50×100. 65×125. 75×150 等は市中品皆無とあつて相場もベラ棒に高い。其他は先づ無難に推移してゐる。チャンネル並にジョイストも前報とほぼ同じである。

鋼 板 1、2 中板は既報の如く外註品の入荷も案外少く且つ共販よりの荷廻り不順調なるため相場は騰勢を辿りつゝあり。6mm は最近大量の註文に接したので急反撥を演じた。其他の厚板は別表の如く 16 圓カツチリを唱へられてゐる。

線 材 相變らず市中在庫は豊富でなく市況の硬化を傳へられてゐる。然し乍ら今回の米國モロトリアムの報に賣買共見送られ目先多少の氣迷ひはまぬかれまいと見られてゐる。

鐵 力 板 元來鐵力板は爲替に支配されてゐた品物丈に對米爲替取引停止の報に接し昨 6 日の市場は一齊休業同様でひたすら本國よりの後報を待ちわびてゐる。

昭和 8 年 1 月中當所品種別揚地別發送高

(單位噸)

品 種		揚 地 別																計	計
		阪神		京濱		名古屋		満洲	其他		當所		計		満洲				
品 名	寸 法	官 廳	民 間	官 廳	民 間	官 廳	民 間		官 廳	民 間	官 廳	民 間	官 廳	民 間		官 廳	民 間	官 廳	民 間
品厚中薄特	鋼板	6mm以上	1	2,408	158	710	148	216	466	1,838	56	13	43	2,158	3,433	466	6,057		
	鋼板	1mm-6mm未滿	40	1,556	99	1,652	30	311	1	559	61	—	81	728	3,661	1	4,390		
殊素	鋼板	1mm未滿	—	926	16	780	—	—	—	5	—	2	18	23	1,724	—	1,747		
	鋼板	1 括	—	186	—	133	—	—	—	4	—	—	—	4	319	—	323		
鐵力	鋼板	〃	—	349	—	543	—	—	—	31	94	—	68	31	1,054	—	1,085		
	鋼板	〃	56	868	60	1,671	—	—	—	85	79	—	164	201	2,782	—	2,983		
大形	丸鋼	100mm超	—	263	3	70	—	—	—	44	—	—	163	47	496	—	543		
	丸鋼	36mm超	—	1,321	4	75	2	123	44	78	11	—	72	84	1,602	44	1,730		
中形	丸鋼	36mm以下	—	2,669	8	1,684	23	525	585	96	63	—	106	127	5,047	585	5,759		
	角鋼	100mm超	—	65	—	16	—	—	—	—	—	—	1	—	82	—	82		
大形	角鋼	36mm超	10	136	13	214	—	10	10	16	—	7	—	46	360	10	416		
	角鋼	36mm以下	—	72	5	81	—	69	—	1	17	—	25	6	264	—	270		
中形	平鋼	幅55mm超	—	188	3	159	—	49	151	—	—	1	8	4	404	151	559		
	平鋼	幅55mm以下	—	63	—	7	—	—	34	7	—	—	15	7	85	34	126		
小形	棒鋼	半丸、六角、八角	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	棒鋼	1 括	—	—	—	117	—	—	—	—	—	—	—	—	117	—	117		
大形	山形鋼	等邊不等邊	370	4,000	11	1,249	—	16	43	151	—	—	35	532	5,300	43	5,875		
	山形鋼	邊100mm超	—	1,616	12	100	—	169	327	263	59	—	49	275	1,993	327	2,595		
中形	山形鋼	〃 50mm超	—	832	1	162	—	196	22	70	25	—	21	71	1,236	22	1,329		
	山形鋼	〃 50mm以下	105	2,202	19	1,311	38	53	244	134	2	1	53	297	3,621	244	4,162		
小形	鋼形	1 括	85	3,167	6	1,976	—	19	15	210	—	—	4	301	5,166	15	5,482		
	鋼形	球山、T、Z、1括	—	110	—	10	—	—	4	4	—	—	2	4	122	4	130		
工特殊	鋼形	1 括	—	—	—	—	—	27	—	—	—	—	79	—	106	—	106		
	鋼形	22kg以上	525	152	1,384	—	—	—	10,819	1,119	27	288	29	3,116	208	10,819	14,143		
鋼重	軌條	22kg未滿	—	846	—	526	19	250	40	15	149	71	200	105	1,971	40	2,116		
	軌條	1 括	158	34	160	10	—	—	174	27	4	11	2	356	50	174	580		
輕軌	鋼片	〃	—	2,780	4	2,131	—	220	201	—	—	—	3,715	4	8,846	201	9,051		
	鋼塊	〃	—	813	—	439	2	—	—	—	—	—	5,372	2	6,624	—	6,626		
販賣	鋼塊	〃	—	—	—	159	—	—	—	—	—	—	224	—	283	—	383		
	鋼塊	〃	〃	5,923	—	—	—	—	—	4,821	—	390	—	11,134	—	—	11,134		
外車	軸及鍛成品	〃	—	105	126	—	—	—	—	142	—	—	—	263	105	—	373		
	軸及鍛成品	〃	—	20	—	105	1	—	9	—	—	—	—	1	125	9	135		
短尺	鋼	〃	—	456	—	260	—	131	—	—	—	68	75	68	922	—	990		
	鋼	〃	—	—	—	41	—	—	—	3	—	—	—	3	41	—	44		
特殊鋼	條鋼	一 括	—	—	—	41	—	—	—	3	—	—	—	3	41	—	44		
鋼材計	鋼材計	鋼材計	1,150	34,126	2,092	16,391	263	2,384	13,189	4,902	5,468	462	11,014	8,869	69,383	13,189	91,441		
販賣用屑鋼	鋼材計	鋼材計	—	215	—	—	—	—	—	77	22	63	1,569	140	1,806	—	1,946		

昭和7年12月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種 別	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 本累
條 及 竿 鐵 (丸、角及平形にして徑邊又は幅 15mm を超えざるもの)	59	—	14	—	20	—	118	2	—	—	10	223	5,704
〃 (丸、角、平のもの其他)	25	—	111	26	16	—	42	114	—	30	16	380	10,035
〃 (テ ー 形 及 ア ン グ ル 形)	—	—	552	—	—	—	—	6	—	—	—	558	5,309
〃 (其 他)	—	—	279	—	—	5	—	—	—	—	59	343	17,679
レ イ ツ シ ニ、ブ レ ー ト	—	—	—	—	—	—	—	71	—	33	—	104	5,661
ワイヤー ロ ッ ド (巻きたるものにして徑 5mm を超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	171
〃 (巻きたるもの其他)	—	153	21	1,301	—	—	70	515	—	—	—	2,060	27,891
鐵 板 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mm を超えざるもの)	—	—	80	—	—	—	—	156	—	—	—	236	2,475
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 0.7mm を超えざるもの其他)	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	3	11,080
〃 (金屬を鍍せざるものにして厚 3mm を超えざるもの)	4	—	24	—	61	—	16	—	—	—	—	105	3,905
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	—	6	33	—	13	—	—	—	—	45	—	97	4,945
〃 (錫鍍したるもの)(葉鐵及葉鋼)	2,268	—	1,859	—	—	197	—	697	—	—	58	5,079	63,470
〃 (亞鉛鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	30	—	—	1	48	576
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 線	30	1	15	5	5	—	13	80	—	—	1	105	2,362
鐵 帶	42	19	71	—	—	—	80	—	—	—	—	212	4,424
ラ ゴ ン、ワ イ ヤ	164	418	470	2,264	—	—	—	19	—	—	572	3,907	47,652
線 撚 索	4	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	6	170
合 線	—	—	5	—	—	—	—	5	—	—	—	10	173
鐵 管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	77
鐵 特 殊	80	—	28	70	—	27	—	74	—	—	—	279	8,101
鐵 道 車 輛 用 車 輪 及 車 軸	30	4	11	—	122	—	60	3	14	—	15	259	2,775
鐵 道 車 輛 用 ス プ リ ン グ	4	—	3	—	—	—	—	—	—	—	7	14	620
鐵 道 車 輛 用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52
鐵 道 車 輛 用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	167
合 計	2,710	610	3,576	3,666	240	229	401	1,772	14	108	756	14,073	225,475
フ エ ロ、マ シ ン ガ ニ ー ス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	202
其 他 の 不 可 鍛 成 鐵 合 金	2	—	13	—	—	—	11	—	—	—	—	26	381
シ ー ト、バ ー (テ ィ ン バ ー を 含 む)	4	—	—	—	—	—	—	—	2,072	—	—	1,784	12,313
イ ン ゴ ー ッ ト、プ ル ー ム、ビ レ ッ ト 及 ス ラ ッ プ	—	—	—	—	—	—	—	—	1,780	—	—	31	12,693
ウ ェ ッ グ ス、チ ー ル 及 バ ン プ ス、チ ー ル	—	—	—	—	—	—	31	—	—	—	—	—	537
其 他 の 塊 及 錠 鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
合 計	6	—	13	—	—	—	42	—	—	3,852	—	3,913	26,130
鉄 屑	254	—	—	—	—	—	—	102	—	4,125	32,340	36,821	444,425
及 故 鐵	155	44	—	204	—	94	—	8,589	—	14,324	20,129	43,539	458,978

線材薄板鋁力板輸入速報

2月中旬 神戸自 9 日至 17 日
大阪自 8 日至 17 日
横濱

2 月下旬 { 神戸、大阪自 18 日至 27 日
横濱自 18 日至 27 日

3月上旬 { 神戸、大阪自2月28日至3月8日
横濱自2月28日至3月7日

區 分		神戶	大阪	横濱	合 計
品 名	B.W.G. No. 5	25	52	—	77
線 材	他	—	100	4	104
	計 計	25	152	4	181
薄 板	0.7mm 以下	330	152	155	637
		—	—	143	143
	計 計	—	—	143	143
鍍 板	力 計	361	202	83	646
		473	1,311	564	2,348

神戸	大阪	横濱	合 計
—	—	50	50
135	375	—	510
135	375	50	560
465	527	205	1,197
—	—	—	—
—	—	143	143
108	739	1,465	2,312
581	2,050	2,029	4,660

神戸	大阪	横浜	合 計
10	—	—	10
—	—	7	7
10	—	7	17
—	—	—	—
—	—	60	60
—	—	—	—
593	1,450	443	2,486

昭和 8 年 1 月中、神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表

(單位噸)

寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數	寸 法	噸 數
棒 鋼 の 部													
丸 鋼		1 1/8	1	球山形鋼		電氣鐵板		鋼 管 の 部					
90mm	1	1 1/4	2	(造船材料)		028"	1	鋼 管	4				
3/16"	21	2	4	3 1/2" x 3 1/2"	36	032"	1		4 1/8				
1/4"	1	2 1/4	1	計	36	計	2		4 1/2				
3/8"	8	2 1/2	3	丁 形 鋼		縞 鋼 板		1/2"	5				
7/16"	2	3	7	1 1/2" x 1 1/2"	10	6mm	31	9/16"	9				
1/2"	8	3 1/2	1	計	10	3/16"	36	5/8"	2				
5/8"	8	4	7	型 鋼 計	275	1/4"	15	6 3/8"	118				
3/4"	7	5	3	條 鋼 計	1,096	計	82	8 3/8"	98				
1 1/8"	6	6	5	鋼 板 の 部		造船材船		Pipe fitting	3				
1 1/4"	8	計	222	鋼板(0.7mm 超)		1/4"	19	其 他	57				
1 1/2"	4	平 鋼		1/16"	494	計	19	鋼管計	292				
1 3/4"	1	22mm	57	3/32"	102	計	101	其他鋼材の部					
2"	1	3/8"	1	1/8"	558	鋼 材 計		特殊鋼					
2 1/4"	25	1/2"	11	3/16"	486	丸 鋼	190						
2 1/2"	1	5/8"	25	1/4"	201	角 鋼	12						
2 3/4"	1	3/4"	14	3/8"	70	平 鋼	40						
3"	25	7/8"	16	1/2"	11	鋼 板	12						
3 1/4"	1	1"	16	5/8"	52	計	254						
3 1/2"	5	1 1/4"	23	3/4"	19	車 軸							
3 3/4"	12	1 1/2"	11	7/8"	6	計	12						
4"	2	1 3/4"	50	1"	12	其他鋼材計	266						
4 1/4"	11	2"	14	1 1/8"	25	鋼 材 總 計	11,074						
4 1/2"	12	2 1/4"	27	1 1/4"	20								
4 3/4"	2	2 1/2"	18	1 1/2"	19								
5"	5	3"	3	1 3/4"	18								
5 1/2"	8	3 1/2"	4	2"	17 1/2								
6"	9	3 3/4"	1	2 1/4"	17								
6 1/2"	3	4"	5	2 1/2"	16 1/2								
7"	2	4 1/2"	2	3"	16								
8"	6	5"	2	3 1/2"	15 1/2								
314"	2	6	7	4"	15								
360"	1	計	281	4 1/2"	14 1/2								
其 他	2	其他の棒鋼		5"	14								
計	247	(造船材料)		5 1/2"	13 1/2								
造船材料		計	2	6"	13								
1 1/2mm	17	棒 鋼 計	821	6 1/2"	12 1/2								
計	17	型 鋼 の 部		7"	12								
丸鋼計	264	山 形 鋼		7 1/2"	11 1/2								
角 鋼		寸法不明	6	8"	11								
1/4"	7	計	6	8 1/2"	10								
5/16"	20	溝 形 鋼		9"	9								
3/8"	38	mn mm		9 1/2"	8								
1/2"	22	100 x 50	187	10"	8								
3/4"	38	13" x 4"	17	10 1/2"	7								
7/8"	10	計	204	11"	6								
1"	19	工 形 鋼		11 1/2"	5								
1 1/4"	14	寸法不明	19	12"	4								
1 1/2"	5	計	19	12 1/2"	4								
	3	計	19	13"	4								
		計		13 1/2"	3								
		計		14"	3								
		計		14 1/2"	3								
		計		15"	3								
		計		15 1/2"	3								
		計		16"	3								
		計		16 1/2"	3								
		計		17"	3								
		計		17 1/2"	3								
		計		18"	3								
		計		18 1/2"	3								
		計		19"	3								
		計		19 1/2"	3								
		計		20"	3								
		計		20 1/2"	3								
		計		21"	3								
		計		21 1/2"	3								
		計		22"	3								
		計		22 1/2"	3								
		計		23"	3								
		計		23 1/2"	3								
		計		24"	3								
		計		24 1/2"	3								
		計		25"	3								
		計		25 1/2"	3								
		計		26"	3								
		計		26 1/2"	3								
		計		27"	3								
		計		27 1/2"	3								
		計		28"	3								
		計		28 1/2"	3								
		計		29"	3								
		計		29 1/2"	3								
		計		30"	3								
		計		30 1/2"	3								
		計		31"	3								
		計		31 1/2"	3								
		計		32"	3								
		計		32 1/2"	3								
		計		33"	3								
		計		33 1/2"	3								
		計		34"	3								
		計		34 1/2"	3								
		計		35"	3								
		計		35 1/2"	3								
		計		36"	3								
		計		36 1/2"	3								
		計		37"	3								
		計		37 1/2"	3								
		計		38"	3								
		計		38 1/2"	3								
		計		39"	3								
		計		39 1/2"	3								
		計		40"	3								
		計		40 1/2"	3								
		計		41"	3								
		計		41 1/2"	3								
		計		42"	3								
		計		42 1/2"	3								
		計		43"	3								
		計		43 1/2"	3								
		計		44"	3								
		計		44 1/2"	3								
		計		45"	3								
		計		45 1/2"	3								
		計		46"	3								
		計		46 1/2"	3								
		計		47"	3								
		計		47 1/2"	3								
		計		48"	3								
		計		48 1/2"	3								
		計		49"	3								
		計		49 1/2"	3								
		計		50"	3								
		計		50 1/2"	3								
		計		51"	3								
		計		51 1/2"	3								
		計		52"	3								
		計		52 1/2"	3								
		計		53"	3								
		計		53 1/2"	3								
		計		54"	3								
		計		54 1/2"	3								
		計		55"	3								
		計		55 1/2"	3								
		計		56"	3								
		計		56 1/2"	3								
		計		57"	3								
		計		57 1/2"	3								
		計		58"	3								
		計		58 1/2"	3								
		計		59"	3								
		計		59 1/2"	3								
		計		60"	3								
		計		60 1/2"	3								
		計		61"	3								
		計		61 1/2"	3								
		計		62"	3								
		計		62 1/2"	3								
		計		63"	3								
		計		63 1/2"	3								
		計		64"	3								
		計		64 1/2"	3								
		計		65"	3								
		計		65 1/2"	3								
		計		66"	3								
		計		66 1/2"	3								

昭和8年2月中發表各種鋼材先物建値表

種 類	分 類	所 屬 別	外 注 値 段			建 値 月 日	積 月				備 考
			沖 着	爲 替	河 岸 着		3、4 月 積	4月 積	4、5 月 積	5、6 月 積	
丸 鋼	9mm	關 東 鋼 材	\$ 15'60	20 $\frac{1}{16}$	101'34	2.16	93	—	—	—	据 置
"	50mm-100mm	"	"	"	"	"	—	—	97	—	"
"	ベ ー ス	"	"	"	"	"	—	—	97	—	"
角 鋼	製鐵所分野	製 鐵 所	14'85	21'00	96'13	2.9	—	—	93	—	"
平 鋼		"	"	"	"	"	—	—	93	—	"
工 形 鋼	時 寸 法	"	14'00	"	92'15	"	—	—	87	—	"
溝 形 鋼	耗 寸 法	"	17'60	"	109'05	"	—	—	705	—	"
大型山形	等 邊	"	14'00	"	92'15	"	—	—	90	—	"
中型山形		中 型 山 形 共 販	14'85	"	96'13	"	—	—	93	—	"
"	不 等 邊	"	15'10	21 $\frac{1}{16}$	97'10	2.10	—	—	95	—	"
小型山形	3mm×20mm	小 型 山 形 共 販	16'50	20 $\frac{1}{16}$	104'10	2.4	105	—	—	—	"
"	3×25-5mm×30mm	"	16'00	"	101'75	"	101	—	99	—	1 圓上げ
"	5×40mm-6×45mm	"	15'00	"	97'04	"	—	—	—	—	1 圓下げ
厚 板	耳 付	厚 板 共 販	14'25	"	93'52	"	—	—	—	—	厚さ 6mm のエキストラは 3 圓厚板は 5 圓上げ
"	定 尺	"	18'85	20 $\frac{1}{2}$	117'03	2.22	97	—	105	—	"
中 板	1'6mm	中 板 共 販	—	—	—	"	—	—	113	—	"
"	2'3mm	"	22'65	21'00	139'53	2.10	—	—	130	—	2 圓上げ
"	3'2mm	"	21'45	"	133'91	"	—	—	125	—	"
"	4'5mm	"	18'70	"	114'18	"	—	—	112	—	"
"		"	18'00	"	110'90	"	—	—	105	—	"
黒 板	13枚物 内地向	黒板共販薄物部	£ 12-2-6	12- $\frac{7}{16}$	248'71	2.21	210	—	—	—	5 圓上げ
"	6呎	"	"	"	"	"	212	—	—	—	"
"	7呎	"	11-17-6	"	244'47	"	215	—	—	—	"
"	8呎	"	"	"	"	"	215	—	—	—	"
"	13枚物 輸出向	"	12-2-6	"	205'21	"	190	—	—	—	5 圓下げ
"	6呎	"	"	"	"	"	192	—	—	—	"
"	7呎	"	11-17-6	"	200'97	"	195	—	—	—	"
"	8呎	"	"	"	"	"	195	—	—	—	"
"	12枚物	黒板共販厚物部	—	—	—	—	201	—	—	—	厚物の輸出は賣出さず 厚物は据置
"	11"	"	—	—	—	—	199	—	—	—	"
"	10"	"	10-1-6	"	210'78	"	197	—	—	—	"
"	9"	"	—	—	—	—	195	—	—	—	"
"	8"	"	—	—	—	—	192	—	—	—	"
"	7"	"	—	—	—	—	190	—	—	—	"
"	6"	"	8-11-6	"	185'93	"	185	—	—	—	"
"	5"	"	—	—	—	—	182	—	—	—	"
"	4"	"	—	—	—	—	180	—	—	—	"
"	3"	"	7-9-0	"	154'65	"	175	—	—	—	紙力の単位は 1 函
紙 力 板	170lbs	製 鐵 所	1-12-7	$\frac{1}{2}$ - $\frac{3}{8}$	28'46	2.14	27'70	—	—	—	20 錢上げ
"	100	"	0-17-6	"	15'35	"	15'00	—	—	—	"
硅素鋼板	B-級 函入	"	21-2-9	$\frac{1}{2}$ - $\frac{3}{16}$	345'99	2.3	—	305	—	—	5 圓上げ
"	C-級	"	—	—	—	"	—	325	—	—	"
"	D-級	"	—	—	—	"	—	345	—	—	"
"	T-級	"	2-711-6	"	450'19	"	—	420	—	—	"
美装鋼板	18 番以下 鷲印	"	—	—	—	2.2	—	—	15上げ	—	美装鋼板は建値發表せず
"	" 鷲印	"	—	—	—	"	—	"	"	—	"
"	1'6mm 以上 鷲印	"	—	—	—	"	—	"	3上げ	—	"
"	" 鷲印	"	—	—	—	"	—	"	"	—	"
綯 鋼 板	"	"	—	—	—	2.15	—	—	112'50	—	2 圓上げ
スコップ用鋼板	"	"	\$ 25'50	21 $\frac{1}{16}$	153'16	2.14	160'00	—	—	—	据置
重 軌 條、繼 目 板 共	"	"	29'40	21'00	161'32	2.6	—	—	—	—	次回三軌會迄140圓, 10圓上 げ
輕 軌 條、10 哩 未 滿	"	"	—	—	—	2.6	100	—	—	—	4 圓上げ
" 10 哩 以 上 向	"	"	—	—	—	"	108	—	—	—	"
線 材 內 地 向	"	線 材 共 販	25'50	21 $\frac{1}{4}$	142'20	2.7	130	—	—	—	5 圓上げ
" 輸 出 向	"	"	"	"	120'53	"	—	—	115	—	据置
シートパイリング	"	製 鐵 所	—	—	—	2.8	—	—	—	—	据置次回會議迄155圓

備 考 此他に定期値段及隨時賣値段あり

昭和7年12月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表 (單位吨)

區分 寸法	丸 鋼					角 鋼				
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼
	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	合計	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	合計
9mm	1,539	1,582	794	3,915	—	—	—	—	—	40
10	—	—	6	6	—	—	—	—	—	2
12	—	—	20	20	—	—	—	—	—	69
18	—	—	1	1	—	—	—	—	—	62
21	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1
25	—	—	3	3	—	—	—	—	—	25
26	—	1	—	1	—	—	—	—	—	35
30	—	—	1	1	—	—	—	—	—	4
32	—	—	3	3	—	—	—	—	—	55
38	1	—	27	28	—	—	—	—	—	52
40	—	—	1	1	—	—	—	—	—	2
42	—	—	4	4	—	—	—	—	—	99
44	—	—	29	29	—	—	—	—	—	6
50	215	120	59	394	9	—	17	26	420	14
55	95	6	3	104	8	—	4	12	116	36
57	—	5	—	5	—	—	—	—	—	5
60	149	111	34	294	—	—	7	7	301	25
65	163	179	35	377	—	—	5	5	382	12
70	116	76	5	197	—	—	—	—	—	—
73	—	—	—	—	—	—	3	3	3	—
75	146	169	77	392	—	—	7	7	399	—
80	84	38	1	123	—	—	2	2	125	—
85	—	—	2	2	—	—	1	1	3	—
90	55	51	6	112	—	—	6	6	118	—
95	—	20	—	20	—	—	—	—	20	—
100	5	1	74	80	—	—	17	17	97	—
110	—	—	7	7	—	—	—	—	7	—
115	5	—	1	6	—	—	—	—	6	—
130	37	19	15	71	1	—	6	7	78	—
135	3	1	1	5	—	—	—	—	5	—
140	9	5	—	14	—	—	—	—	14	—
150	51	32	6	89	—	—	22	22	111	—
160	3	—	—	3	—	—	—	—	3	—
170	—	3	—	3	—	—	—	—	3	—
180	—	3	—	3	—	—	—	—	3	—
200	15	34	2	51	—	—	2	2	53	—
250	—	3	—	3	—	—	—	—	3	—
計	2,691	2,459	1,218	6,368	18	—	99	117	6,485	—

區分 寸法	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼
	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	合計	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	合計
12mm	—	40	—	40	—	—	—	—	—	40
13	2	—	—	2	—	—	—	—	—	2
16	45	24	—	69	—	—	—	—	—	69
19	37	20	5	62	—	—	—	—	—	62
22	1	—	—	1	—	—	—	—	—	1
25	25	—	—	25	—	—	—	—	—	25
28	30	5	—	35	—	—	—	—	—	35
32	1	—	3	4	—	—	—	—	—	4
38	13	25	17	55	—	—	—	—	—	55
44	27	25	—	52	—	—	—	—	—	52
46	—	2	—	2	—	—	—	—	—	2
50	34	54	11	99	—	—	—	—	—	99
75	—	—	—	—	—	—	—	6	6	6
90	—	5	6	11	—	—	—	3	3	14
100	—	6	14	20	—	—	1	15	16	36
150	—	1	—	1	—	—	—	4	4	5
250	—	—	25	25	—	—	—	—	—	25
500	—	—	12	12	—	—	—	—	—	12
計	215	207	93	515	—	—	1	28	29	544
					平	鋼				
19mm	46	195	40	281	—	—	—	—	—	281
22	153	54	—	207	—	—	—	—	—	207
25	5	14	—	19	—	—	—	—	—	19
32	43	32	2	77	—	—	—	—	—	77
38	—	—	11	11	—	—	—	—	—	11
50	8	11	50	69	—	—	—	—	—	69
60	1	1	1	3	—	—	—	—	—	3
75	202	82	56	340	—	—	—	—	—	340
90	52	21	18	91	—	—	1	1	92	—
100	23	10	87	120	—	—	—	—	—	120
125	3	3	4	10	—	—	—	—	—	10
計	536	423	269	1,228	—	—	1	1	1,229	—
總計	3,442	3,089	1,580	8,111	18	1	128	147	8,258	—

昭和8年2月中三港鋼材輸入數量表 (單位吨)

品 種	區 分	神 戸	大 阪	横 濱	2 月 計	前 月 計	本年累計	前 年 同期累計
丸 角 平 等 不 溝 工 鋼 板 (0.7mm 以下) 鉄軌線シ 鋼其 ト パ イ リ ン 管 他	鋼	54	284	73	411	272	683	1,786
	鋼	6	95	4	105	231	326	241
	鋼	11	190	86	287	283	570	1,290
	鋼	20	88	—	108	—	108	228
	鋼	—	—	—	—	—	—	408
	鋼	—	127	137	264	204	468	19
	鋼	—	—	—	—	19	19	428
	鋼	247	1,392	1,092	2,671	3,736	6,407	1,328
	鋼	—	—	143	143	11	154	4,222
	鋼	841	2,088	2,004	4,933	4,978	9,911	7,776
	鋼	—	55	21	76	52	128	272
	鋼	465	527	54	1,046	555	1,601	3,350
	鋼	333	—	—	333	—	333	1,230
	鋼	41	102	212	355	293	648	824
	鋼	159	462	278	899	467	1,366	1,391
計		2,177	5,410	4,044	11,631	11,091	22,722	24,793
硫 石 ナ ク フ レ 炭 タ ゾ リ ー 安 酸 シ ル		3,861	—	2,388	6,249	4,151	10,400	42,394
		—	5	—	5	10	15	10
		414	68	147	629	497	1,126	458
		24	10	20	54	56	110	68

昭和8年1月中當所品種寸法別生産高

(其ノ1) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數			
棒鋼の部		大形角鋼		等邊大型山形鋼		中鋼板		65 2 69 3 80 3 12.5mm 2 計 5.025		ユニバーサル平鋼		附屬品				
小形丸鋼		110mm 170 115 13 120 2 130 29 140 12 150 15 170 41 計 282 角鋼計 1,356	130mm 1,473 150 4,572 計 6.045 等邊山形計 10,065		0.8mm 11 1 246 1.2 14 1.4 1 1.5 28 1.6 742 1.8 5 1.85 371 2 97 2.2 1 2.3 277 2.4 6 2.5 9 2.9 25 3 154 3.2 647 3.5 86 4 239 4.5 723 4.8 6 5 299 5.5 7 5.7 8 1/16" 12 B.W.G.No. 20 176 17 3 16 6 14 8 0.12" 1 4 1 計 4,209		耳付中鋼板 3mm 8 3.2 19 4.5 87 5 1 計 115		6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093		6mm 46 9 8 11 123 12 10 14 19 25 12 計 298		鋼用 目安 6 12 12 4 15 87 30 44 37 389 40 481 50 69 9 9 トラツク ボルト 15 ナット 計 1,110			
7mm 2 8 4 9 4,264 10 21 11 5 12 67 13 43 14 3 15 28 16 209 18 42 19 232 20 11 22 370 23 2 24 19 25 320 26 10 28 72 30 10 32 101 34 14 36 16 計 5,865		19mm 7 22 76 25 185 32 199 計 467		不等邊中型山形鋼 mm mm 65×50 155 75×50 120 90×60 9 計 284		溝形鋼 mm mm 125×65 750 180×75 610 250×90 2,557 6"×2½" 108 7×3½" 44 100×50 611 計 4,680		耳付厚鋼板 6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093		0.35" 867 0.43 247 0.5 32 計 1,146		鉚力板 lbs 170 754 160 1 112 37 107 2 100 449 95 412 90 10 B.W.G.No. 33 22 31 5 30 782 29 357 計 2,831		軌附計 19,906		
中型丸鋼		38mm 61 42 14 44 35 45 3 46 8 48 7 50 215 55 199 60 48 65 272 70 62 75 161 80 23 85 6 90 237 95 62 100 489 計 1,902	65mm 12 75 35 80 4 90 115 95 21 100 67 115 5 計 259 平鋼計 726		工形鋼 mm mm 100×75 350 150×125 933 180×100 75 200×100 250 200×150 471 300×150 1,976 24"×7½" 1,168 計 5,223		厚鋼板 6mm 1,458 6.4 1 6.5 2 7 140 7.5 1 8 446 9 474 9.5 3 10 331 11 98 12 338 13 42 14 156 15 56 16 517 17 22 18 143 19 175 20 116 22 110 25 190 23 51 30 33 31 6 32 70 33 1 36 5 37 1 38 9 38.1 1 40 2 45 2 50 10 50" 2 62 3		6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093		25 190 23 51 30 33 31 6 32 70 33 1 36 5 37 1 38 9 38.1 1 40 2 45 2 50 10 50" 2 62 3		25 190 23 51 30 33 31 6 32 70 33 1 36 5 37 1 38 9 38.1 1 40 2 45 2 50 10 50" 2 62 3		鋼線 1.5mm 3 1.775 5 1.95 1 3 5 5.5 6 6 1 計 21	
スケルプ		72mm 74 112 188 計 262	300×150 1,976 24"×7½" 1,168 計 5,223		丁形鋼 3"×3" 110 計 110		綫中鋼板 3mm 8 3.2 18 4.5 245 5 2 計 273		其他鋼板 飛行機用板 10 鋼板 2 クロムバ 2 ナデュー 7 ム鋼板 277 美装鋼板 1 汽罐用板 63 鋼物用板 3 鋼氣爐板 363 計 363		鋼板計 10,67		線釘計 9,782			
其他の棒鋼		引拔磨鋼 17 計 17	球山形鋼 mm mm 180×75 99 3"×3½" 211 計 310		球山形鋼 mm mm 180×75 99 3"×3½" 211 計 310		綫厚鋼板 6mm 238 6.5 1 8 167 9 29 10 8 計 443		鋼板計 10,67		鋼板計 10,67		其他の部			
型鋼の部		20mm 82 25 206 30 235 35 31 40 336 45 217 50 395 計 1,552	等邊小型山形鋼 20mm 82 25 206 30 235 35 31 40 336 45 217 50 395 計 1,552		型鋼計 20,672		鋼板の部		鋼板計 10,67		鋼板計 10,67		鋼板計 10,67			
薄鋼板		0.5mm 4 7 174 8 39 10 115 13 1,075 B.W.G.No. 21 55 23 1 30 444 計 1,907	等邊中型山形鋼 65mm 1,166 75 90 90 612 計 2,468		鋼板の部		鋼板計 10,67		鋼板計 10,67		鋼板計 10,67		鋼板計 10,67			
等邊大型山形鋼		130mm 1,473 150 4,572 計 6.045 等邊山形計 10,065	等邊大型山形鋼 130mm 1,473 150 4,572 計 6.045 等邊山形計 10,065		等邊大型山形鋼 130mm 1,473 150 4,572 計 6.045 等邊山形計 10,065		等邊大型山形鋼 130mm 1,473 150 4,572 計 6.045 等邊山形計 10,065		等邊大型山形鋼 130mm 1,473 150 4,572 計 6.045 等邊山形計 10,065		等邊大型山形鋼 130mm 1,473 150 4,572 計 6.045 等邊山形計 10,065		等邊大型山形鋼 130mm 1,473 150 4,572 計 6.045 等邊山形計 10,065			
中鋼板		0.8mm 11 1 246 1.2 14 1.4 1 1.5 28 1.6 742 1.8 5 1.85 371 2 97 2.2 1 2.3 277 2.4 6 2.5 9 2.9 25 3 154 3.2 647 3.5 86 4 239 4.5 723 4.8 6 5 299 5.5 7 5.7 8 1/16" 12 B.W.G.No. 20 176 17 3 16 6 14 8 0.12" 1 4 1 計 4,209	中鋼板 0.8mm 11 1 246 1.2 14 1.4 1 1.5 28 1.6 742 1.8 5 1.85 371 2 97 2.2 1 2.3 277 2.4 6 2.5 9 2.9 25 3 154 3.2 647 3.5 86 4 239 4.5 723 4.8 6 5 299 5.5 7 5.7 8 1/16" 12 B.W.G.No. 20 176 17 3 16 6 14 8 0.12" 1 4 1 計 4,209		中鋼板 0.8mm 11 1 246 1.2 14 1.4 1 1.5 28 1.6 742 1.8 5 1.85 371 2 97 2.2 1 2.3 277 2.4 6 2.5 9 2.9 25 3 154 3.2 647 3.5 86 4 239 4.5 723 4.8 6 5 299 5.5 7 5.7 8 1/16" 12 B.W.G.No. 20 176 17 3 16 6 14 8 0.12" 1 4 1 計 4,209		中鋼板 0.8mm 11 1 246 1.2 14 1.4 1 1.5 28 1.6 742 1.8 5 1.85 371 2 97 2.2 1 2.3 277 2.4 6 2.5 9 2.9 25 3 154 3.2 647 3.5 86 4 239 4.5 723 4.8 6 5 299 5.5 7 5.7 8 1/16" 12 B.W.G.No. 20 176 17 3 16 6 14 8 0.12" 1 4 1 計 4,209		中鋼板 0.8mm 11 1 246 1.2 14 1.4 1 1.5 28 1.6 742 1.8 5 1.85 371 2 97 2.2 1 2.3 277 2.4 6 2.5 9 2.9 25 3 154 3.2 647 3.5 86 4 239 4.5 723 4.8 6 5 299 5.5 7 5.7 8 1/16" 12 B.W.G.No. 20 176 17 3 16 6 14 8 0.12" 1 4 1 計 4,209		中鋼板 0.8mm 11 1 246 1.2 14 1.4 1 1.5 28 1.6 742 1.8 5 1.85 371 2 97 2.2 1 2.3 277 2.4 6 2.5 9 2.9 25 3 154 3.2 647 3.5 86 4 239 4.5 723 4.8 6 5 299 5.5 7 5.7 8 1/16" 12 B.W.G.No. 20 176 17 3 16 6 14 8 0.12" 1 4 1 計 4,209		中鋼板 0.8mm 11 1 246 1.2 14 1.4 1 1.5 28 1.6 742 1.8 5 1.85 371 2 97 2.2 1 2.3 277 2.4 6 2.5 9 2.9 25 3 154 3.2 647 3.5 86 4 239 4.5 723 4.8 6 5 299 5.5 7 5.7 8 1/16" 12 B.W.G.No. 20 176 17 3 16 6 14 8 0.12" 1 4 1 計 4,209		中鋼板 0.8mm 11 1 246 1.2 14 1.4 1 1.5 28 1.6 742 1.8 5 1.85 371 2 97 2.2 1 2.3 277 2.4 6 2.5 9 2.9 25 3 154 3.2 647 3.5 86 4 239 4.5 723 4.8 6 5 299 5.5 7 5.7 8 1/16" 12 B.W.G.No. 20 176 17 3 16 6 14 8 0.12" 1 4 1 計 4,209	
耳付中鋼板		3mm 8 3.2 19 4.5 87 5 1 計 115	耳付中鋼板 3mm 8 3.2 19 4.5 87 5 1 計 115		耳付中鋼板 3mm 8 3.2 19 4.5 87 5 1 計 115		耳付中鋼板 3mm 8 3.2 19 4.5 87 5 1 計 115		耳付中鋼板 3mm 8 3.2 19 4.5 87 5 1 計 115		耳付中鋼板 3mm 8 3.2 19 4.5 87 5 1 計 115		耳付中鋼板 3mm 8 3.2 19 4.5 87 5 1 計 115			
耳付厚鋼板		6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093	耳付厚鋼板 6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093		耳付厚鋼板 6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093		耳付厚鋼板 6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093		耳付厚鋼板 6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093		耳付厚鋼板 6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093		耳付厚鋼板 6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093		耳付厚鋼板 6mm 671 7 29 8 349 9 704 10 21 11 165 12 771 13 86 14 43 15 30 16 53 17 10 18 4 19 65 20 29 22 10 25 5 28 2 30 6 32 11 36 6 38 21 45 2 計 3,093	
ユニバーサル平鋼		6mm 46 9 8 11 123 12 10 14 19 25 12 計 298	ユニバーサル平鋼 6mm 46 9 8 11 123 12 10 14 19 25 12 計 298		ユニバーサル平鋼 6mm 46 9 8 11 123 12 10 14 19 25 12 計 298		ユニバーサル平鋼 6mm 46 9 8 11 123 12 10 14 19 25 12 計 298		ユニバーサル平鋼 6mm 46 9 8 11 123 12 10 14 19 25 12 計 298		ユニバーサル平鋼 6mm 46 9 8 11 123 12 10 14 19 25 12 計 298		ユニバーサル平鋼 6mm 46 9 8 11 123 12 10 14 19 25 12 計 298			
鉚力板		lbs 170 754 160 1 112 37 107 2 100 449 95 412 90 10 B.W.G.No. 33 22 31 5 30 782 29 357 計 2,831	鉚力板 lbs 170 754 160 1 112 37 107 2 100 449 95 412 90 10 B.W.G.No. 33 22 31 5 30 782 29 357 計 2,831		鉚力板 lbs 170 754 160 1 112 37 107 2 100 449 95 412 90 10 B.W.G.No. 33 22 31 5 30 782 29 357 計 2,831		鉚力板 lbs 170 754 160 1 112 37 107 2 100 449 95 412 90 10 B.W.G.No. 33 22 31 5 30 782 29 357 計 2,831		鉚力板 lbs 170 754 160 1 112 37 107 2 100 449 95 412 90 10 B.W.G.No. 33 22 31 5 30 782 29 357 計 2,831		鉚力板 lbs 170 754 160 1 112 37 107 2 100 449 95 412 90 10 B.W.G.No. 33 22 31 5 30 782 29 357 計 2,831		鉚力板 lbs 170 754 160 1 112 37 107 2 100 449 95 412 90 10 B.W.G.No. 33 22 31 5 30 782 29 357 計 2,831		鉚力板 lbs 170 754 160 1 112 37 107 2 100 449 95 412 90 10 B.W.G.No. 33 22 31 5 30 782 29 357 計 2,831	
鋼線		1.5mm 3 1.775 5 1.95 1 3 5 5.5 6 6 1 計 21	鋼線 1.5mm 3 1.775 5 1.95 1 3 5 5.5 6 6 1 計 21		鋼線 1.5mm 3 1.775 5 1.95 1 3 5 5.5 6 6 1 計 21		鋼線 1.5mm 3 1.775 5 1.95 1 3 5 5.5 6 6 1 計 21		鋼線 1.5mm 3 1.775 5 1.95 1 3 5 5.5 6 6 1 計 21		鋼線 1.5mm 3 1.775 5 1.95 1 3 5 5.5 6 6 1 計 21		鋼線 1.5mm 3 1.775 5 1.95 1 3 5 5.5 6 6 1 計 21			
特殊鋼條鋼		電氣爐丸 1 鋼丸 2 坩堝鋼丸 3 計 3	特殊鋼條鋼 電氣爐丸 1 鋼丸 2 坩堝鋼丸 3 計 3		特殊鋼條鋼 電氣爐丸 1 鋼丸 2 坩堝鋼丸 3 計 3		特殊鋼條鋼 電氣爐丸 1 鋼丸 2 坩堝鋼丸 3 計 3		特殊鋼條鋼 電氣爐丸 1 鋼丸 2 坩堝鋼丸 3 計 3		特殊鋼條鋼 電氣爐丸 1 鋼丸 2 坩堝鋼丸 3 計 3		特殊鋼條鋼 電氣爐丸 1 鋼丸 2 坩堝鋼丸 3 計 3			
鍛成品		坩堝鋼 1 電氣爐鋼 106 普通鋼 129 計 236	鍛成品 坩堝鋼 1 電氣爐鋼 106 普通鋼 129 計 236		鍛成品 坩堝鋼 1 電氣爐鋼 106 普通鋼 129 計 236		鍛成品 坩堝鋼 1 電氣爐鋼 106 普通鋼 129 計 236		鍛成品 坩堝鋼 1 電氣爐鋼 106 普通鋼 129 計 236		鍛成品 坩堝鋼 1 電氣爐鋼 106 普通鋼 129 計 236		鍛成品 坩堝鋼 1 電氣爐鋼 106 普通鋼 129 計 236			
其他		外車輪 253 ボルト 173 ナット 24 リベット 33 ナット 2 座鐵 1 計 486	其他 外車輪 253 ボルト 173 ナット 24 リベット 33 ナット 2 座鐵 1 計 486		其他 外車輪 253 ボルト 173 ナット 24 リベット 33 ナット 2 座鐵 1 計 486		其他 外車輪 253 ボルト 173 ナット 24 リベット 33 ナット 2 座鐵 1 計 486		其他 外車輪 253 ボルト 173 ナット 24 リベット 33 ナット 2 座鐵 1 計 486		其他 外車輪 253 ボルト 173 ナット 24 リベット 33 ナット 2 座鐵 1 計 486		其他 外車輪 253 ボルト 173 ナット 24 リベット 33 ナット 2 座鐵 1 計 486			

昭和8年1月中當所品種寸法別生産高

(其ノ2) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
其他計	725	銑鐵		鋼塊		鋼片		シートバー		短尺及屑鋼			
鋼材總計	81,125	本戸洞 計	46,373 9,963 18,824 75,160	普通鋼塊 電氣爐塊 坩堝鋼塊 鑄造鋼塊 計	119,762 1,440 18 575 121,795	内部向 外部向 計	75,074 5,637 80,761	内部向 外部向 計	10,334 12,495 22,829	短尺 屑鋼 計	999 1,794 2,793		

東京大阪市中相場

東京 中 2月17日 下 2月28日 上 3月8日
大阪 中 2月15日 下 2月25日 上 3月6日

寸法	2月中旬		2月下旬		3月上旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
丸鋼						
6mm	11:20	10:50	12:50	10:80	12:30	11:50
9	9:80	10:00	11:00	10:20	11:20	11:30
12	10:30	10:50	11:50	11:00	11:60	12:00
19	9:80	10:10	10:80	10:35	11:20	11:30
25	"	"	"	"	"	"
50	13:00	13:50	16:00	13:10	16:50	16:00
65	"	13:80	"	13:80	17:00	16:50

角鋼						
9mm	10:90	10:60	11:50	10:80	12:00	12:00
12	"	"	12:20	"	12:50	"
15	11:00	10:50	"	10:50	"	"
19	"	"	"	10:80	"	11:80
38	11:30	11:50	14:00	"	14:50	12:00

平鋼						
6mm×33mm	11:30	11:00	12:50	10:80	13:00	11:50
6×10	11:00	11:10	13:00	11:00	13:50	12:00
6×75	11:30	11:50	13:50	11:50	13:70	"
9×100	10:90	11:00	12:50	11:00	12:50	"
12×100	"	10:30	"	10:90	"	11:50

等邊山形鋼						
mm mm mm						
6×50×50	12:50	13:50	13:50	12:30	14:00	15:00
6×65×65	13:50	14:00	14:00	13:80	17:50	15:50
9×75×75	11:00	12:00	12:50	11:50	15:50	13:50
9×130×130	10:00	10:00	10:50	9:60	11:50	10:80
12×130×130	9:90	"	"	"	"	"
15×150×150	"	"	10:20	9:50	11:30	10:50

不等邊山形鋼						
mm mm mm						
10×50×75	10:80	10:00	11:40	10:00	12:00	11:50
10×75×100	"	11:50	11:50	12:50	13:00	11:70
10×90×125	"	11:00	"	10:50	12:50	"
9×100×150	10:00	10:00	10:50	10:00	11:00	10:50
12×100×150	"	"	"	"	"	"

寸法	2月中旬		2月下旬		3月上旬	
	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪
溝形鋼						
mm mm mm						
5×50×100	11:20	11:30	13:50	11:30	14:50	13:00
6×65×125	18:00	22:00	23:00	20:00	23:00	25:00
3/8×3"×6"	22:00	20:00	25:00	21:00	22:00	23:00
3/8×3×8	11:20	11:00	12:00	10:50	12:50	11:00
9×90×250	"	11:50	11:50	11:50	12:00	11:50
10×90×300	"	"	"	12:00	11:50	"

工形鋼						
mm mm mm						
5.5×75×150	13:00	13:50	13:50	13:00	14:50	18:00
7×100×200	10:80	11:00	12:00	10:50	11:00	11:00
9×150×300	10:70	12:00	11:00	"	"	11:50
12×150×350	"	10:00	"	10:00	"	10:00
10×125×250	15:00	18:00	"	18:00	13:00	11:00

鋼板						
mm						
1.6×3'×6'	16:50	17:00	22:00	18:50	23:00	23:00
1.6×4×8	16:80	16:00	"	"	"	25:00
3.2×4×8	16:00	15:30	19:00	17:50	18:80	20:00
3.2×5×10	16:80	"	"	18:00	"	"
6.0×4×8	14:00	12:50	18:50	15:00	18:00	19:00
6.0×5×10	13:70	"	18:00	15:50	"	"
9.0×4×8	14:50	16:00	16:00	14:50	16:00	16:00
9.0×5×10	"	15:00	"	15:00	"	"

薄鋼板 (13枚)						
英	—	—	—	—	—	—
川崎	78	80	80	78.5	75	77
八幡	78	80	80	78.5	75	77

鋳力板						
米	{ 170lbs	31:50	31:50	31:50	31:60	31:50
	{ 100	18:50	18:00	18:50	18:20	18:50
	{ 170	29:50	30:30	29:80	30:30	29:80
英	{ 100	16:50	16:80	16:50	16:80	16:50
	{ 170	29:50	30:30	29:80	30:00	29:80
八幡	{ 100	16:50	16:50	16:50	16:50	16:00

線材						
No. 5 #	150'00	160'00	155'00	167'00	165'00	173'00

備考 單位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 噸當り。鋳力板は 1 箱當り。